

北海道コンクリート診断士会

令和4年度 第14回通常総会

令和4年4月18日(月) メール配信

## 「令和 4 年度 第 14 回 通常総会 目次」

1. 第 1 号議案 令和 3 年度 事業報告	p 1
• 第 13 回通常総会	p 4
• 講演会	p 8
• 普及講習会	p 11
• 第 1 回コンクリート診断技術研修会	p 14
• 第 2 回コンクリート診断技術研修会	p 17
2. 第 2 号議案 令和 3 年度 事業決算書	p 20
3. 第 3 号議案 令和 4 年度 事業計画（案）	p 22
4. 第 4 号議案 令和 4 年度 事業予算書（案）	p 23
5. 活動実績	
「JCD かわら版」	p 24
「設立 10 周年記念誌」	p 41
6. コンクリート診断士関連情報（日本コンクリート工学会）	
• 令和 3 年度試験結果概要	p 54
• 県別・業種別登録者数	p 55

## 令和3年度 事業報告

### 1. 第13回通常総会

令和3年4月20日(火) 13:35～ 「札幌コンベンションセンター」

・総会議題

- ① 第1号議案 令和2年度事業報告
- ② 第2号議案 令和2年度 事業決算書
- ③ 第3号議案 令和3年度 事業計画(案)
- ④ 第4号議案 令和3年度 事業予算書(案)
- ⑤ 第5号議案 年会費の改定(案)
- ⑥ 活動実績・JCDかわら版(日本コンクリート診断士会)
- ⑦ コンクリート診断士関連情報(日本コンクリート工学会)

・会長挨拶 北海道コンクリート診断士会会長 横田 弘 氏

(正会員:25名、賛助会員・個人:2、賛助会員・法人:4社、委任状:67

計98名(※総会成立数97以上)

### 2. 特別講演会 (担当:事務局)

令和3年4月20日(水) 14:30～ 「札幌コンベンションセンター」

・演題 「より良い設計と複合構造」

・講師 北海道大学大学院工学研究院 北方圏環境政策工学部門 助教 古内 仁 氏

(出席者:正会員24名、賛助・個人2名、賛助・法人2社・2名 計28名)

・内容 1.より良い構造物の設計のために

- ①北海道における構造物設計研究小委員会の活動紹介  
(北海道土木技術会コンクリート研究委員会)

2.鋼コンクリート複合構造物とは ・複合構造とは

- ①複合構造発展の歴史 ・コンクリート構造物の補修
- ②補強と複合構造物の関係 ・構造物の例 ・複合構造のメリット
- ③北海道内の特徴的な複合構造の事例 ・複合構造物の維持管理
- ④複合構造物の設計上の課題

3.研究紹介

- ①スタッドを用いた鋼板コンクリート合成版の研究紹介

4.おわり

### 3. 診断士普及講習会 (担当:事務局)

令和4年9月29日(水) 10:00～「オンライン方式」

・内容「コンクリート診断技術と診断士試験過去問題の解答・解説」

- ①択一式問題の演習・解説
- ②択一式(計算)問題の演習・解説

・講師 日本データサービス株式会社 設計診断部長 木村 博史 氏 (当会正会員)

(出席者:会員紹介者 計 12 名)

#### 4. 第1回コンクリート診断技術研修会 (担当:事務局)

令和3年7月1日(木) 10:00~ オンライン方式

・内容 「有限要素法によるコンクリート構造物の性能評価」

- 1.コンクリート構造物のプロセス
- 2.コンクリート構造物の要求評価、性能評価の必要性
- 3.性能評価の手法
- 4..FEM による実験の解析事例
- 5..解析を用いた性能評価手法の現在と将来
- 6.FEM 解析による性能評価事例・検討事例
- 7.非線形有限要素解析による性能評価事例
  - ①RC ラーメン鉄道高架橋の破壊追跡
  - ②RC ラーメン鉄道高架橋の収縮解析
  - ③腐食した RC 栈橋の解析
  - ④斜材破断した鋼トラス橋の解析
  - ⑤腐食した合成桁橋の解析
- 8.おわりに

・講師 北海学園大学工学部 教授 高橋 良輔 氏

(出席者:正会員 19 名、賛助・法人 3 名 計 22 名)

#### 5. 第2回コンクリート診断技術研修会 (担当:事務局)

令和3年10月4日(月) 9:30~ オンライン方式

・内容 「コンクリートの凍結融解破壊に及ぼすさまざまな空隙 の作用力と微視的破壊機構」

- 1.Background 盛土材料
- 2.Nfと最低温度の関係
- 3.空隙の種類と凍害における作用力
- 4.遷移帯空隙量の算出
- 5.遷移帯体積、水セメント比の違いによる当該破壊現象の検証
- 6.実験概要
  - ①調合・凍結融解試験概要
  - ②遷移帯空隙量
  - ③顕微鏡観察
- 7.結果・考察
  - ①促進凍結融解試験
  - ②ひび割れ画像解析
  - ③評価式の提案
- 8.まとめ

・講師 北海道大学大学院工学研究院 建築材料学研究室 准教授 北垣 亮馬 氏

(出席者:正会員・紹介者 21 名、賛助・個人 1 名、賛助・法人 9 名 計 31 名)

## 6. 役員会（担当：事務局）

### (1) 第1回役員会（メールによる）

令和3年3月23日（火）

- ・内容 ①「第13回通常総会議案」内容の確認
- ②総会資料の添削
- ③その他

## ●令和2年度 事業計画、総括

事業名（計画）	実施	未実施
第13回通常総会（4月開催）	◎	
特別講演会	◎	
コンクリート診断士普及講習会	○	
第1回コンクリート診断技術研修会（7月開催）	○	
第2回コンクリート診断技術研修会（10月開催）	○	
外部講師派遣		●
講演会・セミナー等後援		●

注：◎印 実地開催、○印 オンライン方式による開催、●印 未実施

## ◆令和3年 会員数の推移（令和2年1月～令和2年12月）

### (1) 新規加入

①正会員 : 3名

②賛助・個人: 1名

③賛助・法人: 1社

計 2名

### (2) 退会

①正会員 : 3名

②賛助・個人: 1名

③賛助・法人: 0社

計 4名

### (3) 登録解除（会費未納他）対象

①正会員 : 3名

②賛助・個人: 0名

③賛助・法人: 0社

計 3名

## ■令和3年末 会員登録数内訳

①正会員 112名

②賛助会員・個人 7名

③賛助会員・法人 24社

## 事業活動（通常総会）報告書－ 1

1	活動名称	令和 3 年度 第 13 回通常総会 ※参加者：98 名（委任状含む）
2	実施日時・場所	令和 3 年 4 月 20 日（火） ホテル札幌ガーデンパレス 13：30 ～ 14：30
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称-1	「議案 第 1 号議案～第 5 議案まで」
4-2	総会の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 号議案      令和 2 年度事業報告</li> <li>・ 第 2 号議案      令和 2 年度事業決算書</li> <li>・ 第 3 号議案      令和 3 年度事業計画（案）</li> <li>・ 第 4 号議案      令和 3 年度事業予算書（案）</li> <li>・ 第 5 号議案      年会費の改定</li> <li>・ その他</li> </ul>
4-3	対応	北海道コンクリート診断士会 会長、副会長、幹事、監査役、事務局

事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5 実施状況写真  
(1)







## 事業活動（講演会）報告書－ 1

1	活動名称	令和 3 年度 講演会 ※参加者：28 名
2	実施日時	令和 3 年 4 月 20 日（火） 札幌コンベンションセンター 14：30 ～ 16：00
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称-1	「より良い設計と複合構造」
4-2	講義の概要	<p>○より良い構造物の設計のために 北海道における構造物設計研究小委員会の活動紹介 （北海道土木技術会コンクリート研究委員会）</p> <p>○鋼コンクリート複合構造物とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合構造とは</li> <li>・複合構造発展の歴史</li> <li>・コンクリート構造物の補修・補強と複合構造物の関係</li> <li>・構造物の例</li> <li>・複合構造のメリット</li> <li>・北海道内の特徴的な複合構造の事例</li> <li>・複合構造物の維持管理</li> <li>・複合構造物の設計上の課題</li> </ul> <p>○研究紹介 スタッドを用いた鋼板コンクリート合成版の研究紹介</p> <p>○おわりに</p>
4-3	講師（氏名・所属会社名）	北海道大学大学院工学研究院 助教 古内 仁 氏

事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5 実施状況写真  
(1)





## 事業活動（研修会・講習会等）報告書－ 1

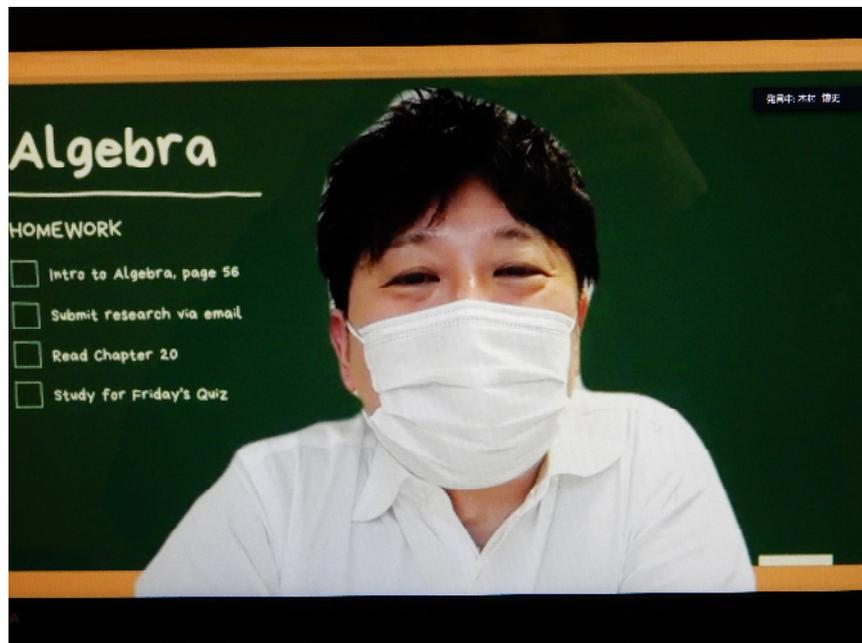
1	活動名称	令和3年度 普及講習会 ※参加者：12名
2	実施日時	令和3年9月29日（水） 10:00 ～ 15:00（オンライン方式）
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称-1	「コンクリート診断技術と診断士試験過去問題の 解答・解説」
4-2	講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート診断技術（試験の傾向）</li> <li>・択一式問題（2020年度および過去の類似問題）の 解答・解説</li> </ul>
4-3	講師（氏名・所属会社名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本データサービス(株) 設計診断部部長 木村 博史 氏</li> </ul>

## 事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5-1

実施状況写真

「コンクリート  
診断技術と診断  
士試験過去問題  
の解答・解説」



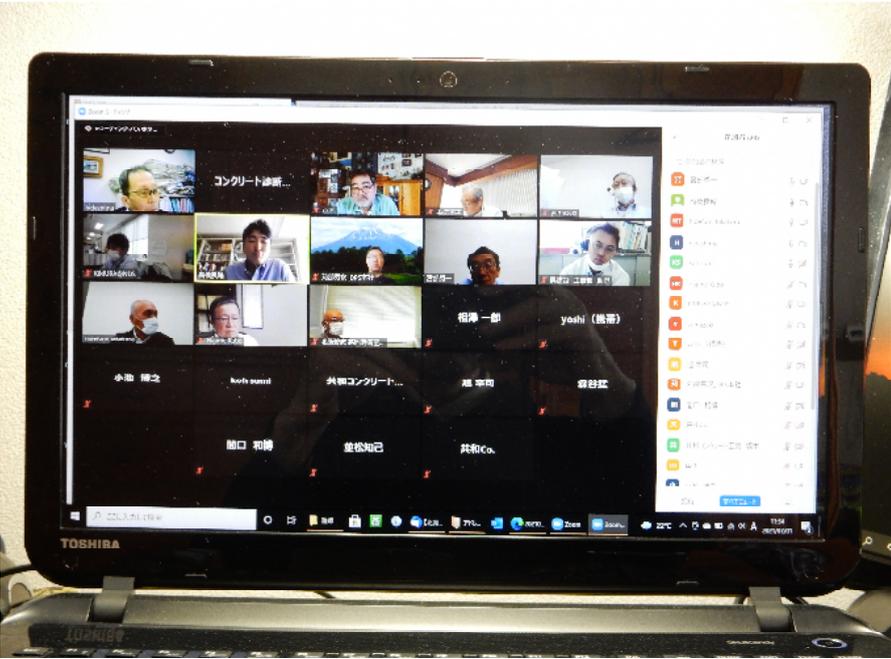
# 事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－3

5-2	実施状況写真												
<p>「コンクリート診断技術と診断士試験過去問題の解答・解説」</p>	<p>試験の傾向</p> <p>北海道コンクリート診断士会</p> <p>176368</p> <p>図-1 合格者数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 受験者数（2020年度）：2,973人（2019年度比：30%↓）</li> <li>✓ 累計合格者数：20年間で1万6368人に到達</li> </ul> <p>➡ 維持管理時代の資格として注目</p> <p>第4講 補修・補強方法</p> <p>100</p> <p>コンクリート中の空洞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1)</td> <td>コンクリート中の空洞</td> <td>コンクリート中の空洞は、コンクリートの強度を低下させる原因となる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。</td> </tr> <tr> <td>2)</td> <td>鉄筋の腐食</td> <td>鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。</td> </tr> <tr> <td>3)</td> <td>塩害</td> <td>塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。</td> </tr> </tbody> </table>	No.	項目	内容	1)	コンクリート中の空洞	コンクリート中の空洞は、コンクリートの強度を低下させる原因となる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。	2)	鉄筋の腐食	鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。	3)	塩害	塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。
No.	項目	内容											
1)	コンクリート中の空洞	コンクリート中の空洞は、コンクリートの強度を低下させる原因となる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。空洞の発生は、コンクリートの劣化を促進させる。											
2)	鉄筋の腐食	鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。鉄筋の腐食は、コンクリートの劣化を促進させる。											
3)	塩害	塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。塩害は、コンクリートの劣化を促進させる。											

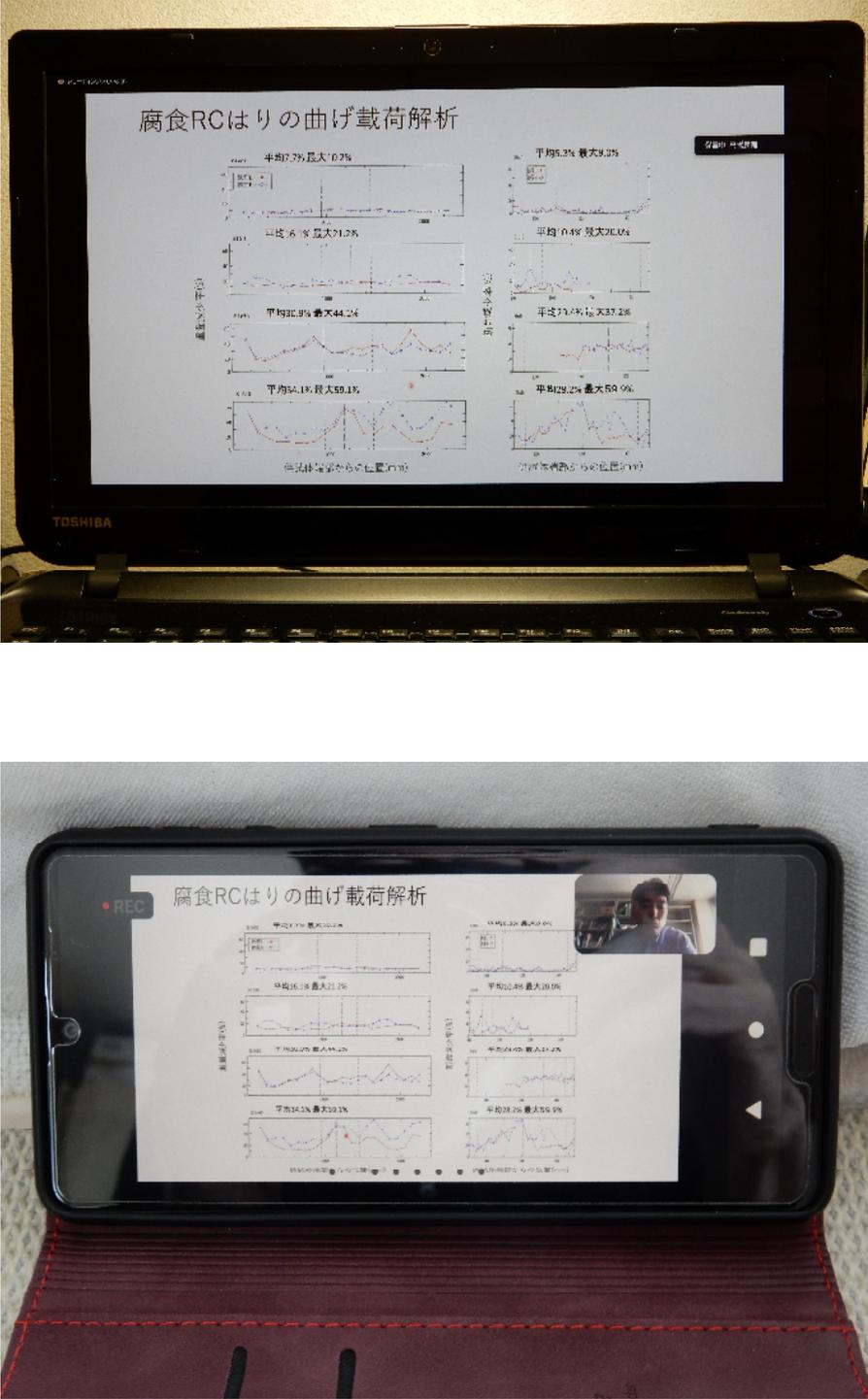
## 事業活動（研修会・講習会等）報告書－ 1

1	活動名称	令和3年度 第1回コンクリート診断技術研修会 ※参加者：22名
2	実施日時	令和3年7月1日（木） 10:00 ～ 11:30（オンライン方式）
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称-1	「有限要素法によるコンクリート構造物の性能評価」
4-2	講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート構造物のプロセス</li> <li>・コンクリート構造物の要求評価、性能評価の必要性</li> <li>・性能評価の手法</li> <li>・FEMによる実験の解析事例</li> <li>・解析を用いた性能評価手法の現在と将来</li> <li>・FEM解析による性能評価事例・検討事例</li> <li>・非線形有限要素解析による性能評価事例 <ul style="list-style-type: none"> <li>RC ラーメン鉄道高架橋の破壊追跡</li> <li>RC ラーメン鉄道高架橋の収縮解析</li> <li>腐食した RC 栈橋の解析</li> <li>斜材破断した鋼トラス橋の解析</li> <li>腐食した合成桁橋の解析</li> </ul> </li> </ul>
4-3	講師（氏名・所属法人名）	北海学園大学工学部 教授 高橋 良輔 氏

## 事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5-1	実施状況写真	
「有限要素法によるコンクリート構造物の性能評価」 (オンライン方式)		

事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－3

5-2	実施状況写真	
<p>「有限要素法によるコンクリート構造物の性能評価」 （オンライン方式）</p>		 <p>The top photograph shows a Toshiba monitor displaying a presentation slide titled "腐食RCはりの曲げ載荷解析" (Bending load analysis of corroded RC beams). The slide contains eight graphs arranged in a 4x2 grid, showing average and maximum values for different specimens. The graphs are labeled with average and maximum values, such as "平均7.79% 最大10.79%" and "平均5.33% 最大8.33%".</p> <p>The bottom photograph shows a tablet displaying the same presentation slide. A small video inset in the top right corner shows a person, likely the presenter, in a video call. The tablet is resting on a dark red surface.</p>

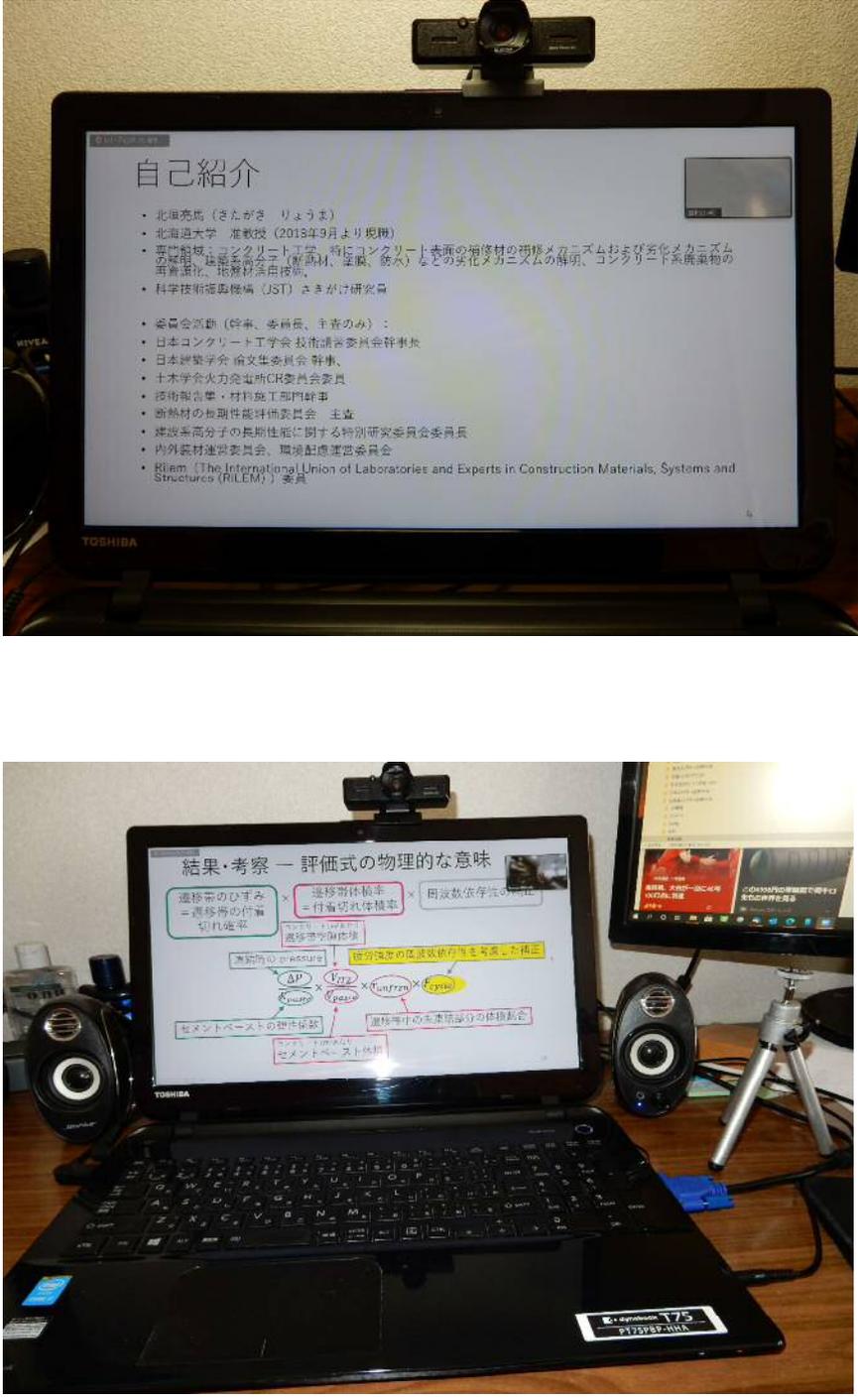
## 事業活動（研修会・講習会等）報告書－ 1

1	活動名称	令和3年度 第2回コンクリート診断技術研修会 ※参加者：31名
2	実施日時	令和3年10月4日（月）  9:30 ～ 10:30（オンライン方式）
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称-1	「コンクリートの凍結融解破壊に及ぼすさまざまな空隙の作用力と微視的破壊機構」
4-2	講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Background</li> <li>・ Nf と最低温度の関係</li> <li>・ 空隙の種類と凍害における作用力</li> <li>・ 評価式による整理</li> <li>・ セメントペーストの弾性係数の算出</li> <li>・ 遷移帯空隙量の算出</li> <li>・ 遷移帯体積、水セメント比の違いによる当該破壊現象の検証</li> <li>・ 実験概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>調査・凍結融解試験概要</li> <li>遷移帯空隙量</li> <li>顕微鏡観察</li> </ul> </li> <li>・ 結果・考察 <ul style="list-style-type: none"> <li>促進凍結融解試験</li> <li>ひび割れ画像解析</li> <li>評価式の提案</li> </ul> </li> <li>・ まとめ</li> </ul>
4-3	講師（氏名・所属法人名）	北海道大学大学院工学研究院 建築材料学研究室 准教授 北垣 亮馬 氏

## 事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5-1	実施状況写真	
<p>「コンクリートの凍結融解破壊に及ぼすさまざまな空隙の作用力と微視的破壊機構」 (オンライン方式)</p>		 

## 事業活動（研修会・講習会等）実施報告書ー3

5-2	実施状況写真	
<p>「コンクリートの凍結融解破壊に及ぼすさまざまな空隙の作用力と微視的破壊機構」 (オンライン方式)</p>	 <p>The top photograph shows a Toshiba monitor displaying a slide titled "自己紹介" (Self-introduction). The slide lists the presenter's name, affiliation (North Hokkaido University), and various professional memberships and research activities. The bottom photograph shows a laptop displaying a flowchart titled "結果・考察 - 評価式の物理的な意味" (Results and Discussion - Physical meaning of the evaluation formula). The flowchart includes mathematical terms like <math>\Delta P</math>, <math>V_{ice}</math>, <math>V_{pore}</math>, <math>\mu_{eff}</math>, and <math>\mu_{eff} \times \mu_{eff}</math>, along with descriptive text in Japanese boxes.</p>	

## 令和3年 北海道コンクリート診断士会 事業決算書

## 1. 収入の部

項 目	R3年度予算	R3年度決算	比較	記 事
	円	円	円	
前年度繰越金	3,236,112	3,236,112	0	
今期収入計(下記内訳)	848,225	818,761	29,464	
・【会費】個人 5,000円他/人	570,000	324,460	245,540	正会員111人、賛助・個人6人、計117人
法人 30,000円/社	720,000	451,000	269,000	法人会員 24社
・預金利息、雑収入	25	31	△ 6	銀行利息(2月、8月)他
・外部講師	100,000	43,270	56,730	建設業協会セミナー他
・会費(前期)相殺分	-541,800	0	△ 541,800	
収入の部合計	4,084,337	4,054,873	29,464	

## 2. 支出の部

項 目	本年度予算	本年度決算	比較	記 事
	円	円	円	
1) 総会(4/20)	90,000	46,560	43,440	
会場費	20,000	17,960	2,040	札幌コンベンションセンター
雑費	70,000	28,600	41,400	
2) 講演会(4/20)	51,000	31,000	20,000	
会場費	0	0	0	札幌コンベンションセンター
講師料	31,000	31,000	0	
雑費	20,000	0	20,000	総会会場費に含む
3) 慰労・祝賀会	0	0	0	
会場費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
4) 10周年記念誌(5/14発刊)	0	0	0	
印刷・製本費	0	0	0	
原稿製作・編集費	0	0	0	
5) 診断士普及講習会(オンライン9/29)	135,000	50,220	84,780	
会場費	15,000	0	15,000	
講師料	90,000	50,000	40,000	
雑費	30,000	220	29,780	
6) 第1回技術研修会(オンライン7/1)	112,000	30,495	81,505	
会場費	20,000	0	20,000	札幌コンベンションセンター
講師料	62,000	30,000	32,000	
雑費	30,000	495	29,505	
7) 第2回技術研修会(オンライン10/4)	122,000	20,330	101,670	
会場費	20,000	0	20,000	
講師料	62,000	20,000	42,000	
雑費	40,000	330	39,670	
8) 現場研修会	0	0	0	
謝礼他	0	0	0	
バス代	0	0	0	
雑費	0	0	0	
9) 外部講師費	100,000	43,270	56,730	
講師料他	100,000	43,270	56,730	室蘭建設業協会講習会他
10) 前年度HP更新費	120,000	120,000	0	
更新ならびに運営費	120,000	120,000	0	
11) 事務費	540,000	376,900	163,100	
事務局運営費	240,000	240,000	0	
旅費・交通費	100,000	22,500	77,500	
什器・備品	200,000	114,400	85,600	
12) 日本コンクリート診断士会負担金	90,000	81,295	8,705	
小 計	1,360,000	800,070	559,930	
13) その他予備費	2,724,337	0	2,724,337	
支出の部合計	4,084,337	800,070	3,284,267	

収入4,054,873円-支出800,070円=次年度繰越金3,254,803円

# 監 査 報 告 書

北海道コンクリート診断士会  
会長 横 田 弘 様

北海道コンクリート診断士会における「令和 3 年度事業執行状況」および「収支決算」について、会計帳簿など関係書類を監査した結果、いずれも適正に執行処理されていることを認めます。

令和 4 年 2 月 4 日

北海道コンクリート診断士会

監査役 糸 賀 大 介 

## 第3号議案

### 令和4年度 事業計画（案）

- ① 研修会 （会則4条（1）コンクリート診断技術の向上のための活動）
  - I.コンクリート最新技術に関する研修
  - II.調査・診断、非破壊試験機器の研修
  - III.会員の診断・補修工事に関する実施例報告
  - IV.補修・補強材料、工法等の各種協会との情報交換ならびに連携
  - V.診断・補修工事における積算・歩掛の確立（技術部会）
  - VI.建設業界における認知度向上に向けた広報活動の推進
  
- ② 現場研修会 （会則4条（1）コンクリート診断技術の向上のための活動）
  - ◇診断・補修工事、土木遺産、大規模プロジェクト（土木・建築）の見学
  
- ③ 総会・講演会 （会則4条（2）コンクリート診断士の品位保持に関する活動）
  
- ④ 診断士普及講習会（会則4条（3）コンクリート診断士制度の普及）
  
- ⑤ 外部講師派遣 （会則4条（1）コンクリート診断技術の向上のための活動）
  
- ⑥ 技術部会・広報活動・後援等（会則4条（3）コンクリート診断士制度の普及）

事業計画工程表（過年度実施・今年度（案））

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
R2年	—	30日③ (総会)		22,25日 ⑤	24日 ⑤	19日 試験 (12/20に 変更)	6,7日 ⑤	—	9,15日 ⑥①	26日 ⑤
R3年	—	—	20日 ③(総会)	—	—	1日 ①	—	29日 ④	4日・31日 ⑥試験	—
R4年	下旬 ⑥	—	下旬 ③(総会)	中・下旬 ④⑤	下旬 ①	上旬・24日 ①試験	—	—	下旬 ⑥	—

第4号議案

令和4年 北海道コンクリート診断士会 事業予算書（案）

1. 収入の部

項目	R4年度予算	R3年度決算	比較	記事
	円	円	円	
前年度繰越金	3,236,112	3,236,112	0	
今期収入予定(下記内訳)	903,025	818,761	84,264	
・【会費】個人 3,500円/人	403,000	324,460	78,540	正会員111人,賛助・個人7人、計118人
法人 20,000円/社	500,000	451,000	49,000	法人会員 25社
・預金利息、雑収入	25	31	△ 6	銀行利息(2月、8月)他
・外部講師	0	43,270	△ 43,270	建設業協会研修会他
収入の部合計	4,139,137	4,054,873	84,264	

2. 支出の部

項目	本年度予算	前年度決算	比較	記事
	円	円	円	
1) 総会費(4月下旬)	30,000	46,560	△ 16,560	メール決済
会場費	0	17,960	△ 17,960	
雑費	30,000	28,600	1,400	配布資料作成等
2) 講演会(4月下旬)	41,000	31,000	10,000	オンライン方式
会場費	0	0	0	
講師料	31,000	31,000	0	
雑費	10,000	0	10,000	配布資料作成等
3) 慰労・祝賀会	0	0	0	
会場費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
4) 診断士普及講習会(5月下旬)	60,000	50,220	9,780	オンライン方式
会場費	0	0	0	
講師料	50,000	50,000	0	
雑費	10,000	220	9,780	配布資料作成等
5) 第1回技術研修会(6月下旬)	41,000	30,495	10,505	オンライン方式
会場費	0	0	0	
講師料	31,000	30,000	1,000	
雑費	10,000	495	9,505	配布資料作成等
6) 第2回技術研修会(未定)	41,000	20,330	20,670	オンライン方式
会場費	0	0	0	
講師料	31,000	20,000	11,000	
雑費	10,000	330	9,670	配布資料作成等
7) 外部講師費	50,000	43,270	6,730	
講師料他	50,000	43,270	6,730	室蘭建設業協会講習会他
8) HP更新費	120,000	120,000	0	
更新ならびに運営費	120,000	120,000	0	
9) 事務費	540,000	376,900	163,100	
事務局運営費	240,000	240,000	0	
旅費・交通費	100,000	22,500	77,500	
什器・備品	200,000	114,400	85,600	
10) 日本コンクリート診断士会負担金	90,000	81,295	8,705	
小計	1,013,000	800,070	212,930	
11) その他予備費	3,126,137	0	3,126,137	
支出の部合計	4,139,137	800,070	3,339,067	

# JCDかわら版

一般社団法人 日本コンクリート診断士会

## プラットフォームとしての役割

(一社)日本コンクリート診断士会 会長 林 静雄

皆様あけましておめでとうございます。

コロナが猛威を振るい、日本コンクリート診断士会の活動は大きな制約を受けてしまいました。総会もメール審議となり、秋の大会も中止せざるを得ませんでした。毎年総会で各地区診断士会の状況報告の交換を行ってまいりましたが、今年度は、それもできないままになっております。各地区の診断士会も活動に大きな制約を受け、大変ご苦勞をされておられます。来年度に向けての活動計画立案にもお悩みのことと思います。

かわら版今号は、各地区の診断士会のプラットフォームとしての役割となればと思い、各地区診断士会に今年度の活動についてご報告をお願いし、コロナ禍のなかにおける悩みと工夫についての情報交換の場といたしました。

コロナの影響は終息の気配も見えず、来年度の見通しも見えない状況です。各地区におかれましては、他地区の活動状況が、今後の活動の参考になれば幸いです。

笹子トンネルの天井崩落事故を契機に始まった全国インフラ総点検の1巡目が終了し、約10%の橋梁が早期に修繕等の措置が必要と報告されていますが、事後保全措置に着手された橋梁は22%であり、措置が完了している橋梁は12%に過ぎません。日本のインフラの保全のために、コンクリート診断士の重要性がますます高まり、コンクリート診断士としては、さらに技術の研鑽を重ねていかなければなりません。

皆様のますますの発展をお祈り申し上げます。

## 活動近況

2020. 11.

部会長会議名古屋開催

次回総会に向けて準備中

皆様のご健康を祈念しております

詳しくはHPをご覧ください

<http://www.jcd-net.or.jp/>

# 地区診断士会 コロナ禍での活動

## 福 井

### コロナ禍における福井県コンクリート診断士会の活動

福井県コンクリート診断士会 会長 山川 博樹

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年の中頃、現在のような状況に陥っていることを、誰が想像していたでしょうか。中国での新型コロナウイルス発生は、メディアからの情報として伝わっていましたが、当時は対岸の火事のように思われていた方も多いかと思います。そうこうしているうちに、日本でも感染者数が増加していき、ついに4月には緊急事態宣言の発令。我々の生活は、今後どのようなようになっていくのか。日本中、一気に不安感が広がりました。

そのような状況下、本会としては、会の最も大きな目的である「社会全般の安全に寄与していくこと」を達成していくためにも、会の活動を停滞させるべきではないと考え、福井県新型コロナウイルス感染症総合対策にも準じ、「オンラインの活用」、「広めの会場の利用」、「マスク着用と、受付時の検温や手指消毒の徹底」などを実施して、活動を継続してまいりました。主な活動は以下のとおりです。

- ・令和2年 6月20日：令和2年度定期総会（オンライン）
- ・令和2年 8月20日：令和2年度技術交流会～会員による診断事例の発表～（リアル）
- ・令和2年 9月18日：福井県橋梁定期点検マニュアル改訂についての研修会（リアル）
- ・令和2年 9月25日：小舟渡橋&宮前川鉄道橋現場見学会（リアル）
- ・令和2年 11月13日：小舟渡橋&宮前川鉄道橋現場見学会（リアル）
- ・令和2年 11月19日：福井県道路メンテナンス会議主催学生向け現場学習会支援（リアル）
- ・令和2年 11月24日：足羽川ダム現場見学会（リアル）
- ・令和2年 12月25日：令和2年度オープンセミナー（リアル）



定期総会(オンライン)の様子



技術交流会(リアル)の様子

# 地区診断士会 コロナ禍での活動

また、研修会活動とは別に、本会と福井県内の地域鉄道会社である福井鉄道、およびえちぜん鉄道との間で、「鉄道施設の検査・診断等の支援」に関する協定書の取り交わしを、令和2年11月27日に行いました。全国に設立している診断士会の中で、今回の地域鉄道との技術支援協定は、本会が全国初。ただし、この協定式はあくまでスタートラインであり、更なる地域貢献を会として今後進めていきたいと考えています。

令和3年になりましたが、新型コロナウイルスの感染者数が劇的に減少していくかどうかは、まだまだ不透明な状況です。そのような状況であっても、福井県コンクリート診断士会としては、会の目的達成のために、様々な策を講じながら本年も活動を継続していく所存です。

# 地区診断士会 コロナ禍での活動

## 島 根

### 島根県コンクリート診断士会活動報告（令和3年1月）

今年は例にもれず、総会の中止に始まり予定していた各種の行事が中止に追い込まれました。そうした中でも、数少ない活動事例について報告します。

まず、中止になった総会の替りに会員に向けて発行した、『建造後82年経過した土木遺産「神戸堰」のコンクリート』報告書は、平成21～25年にかけて会員有志により実施した農業用水利施設であるアーチ式の堰の調査報告書を発行したことが挙げられます。

この報告書は、当会のホームページ<<http://shimanecon.web.fc2.com/>>からダウンロードできるように現在も掲示してあります。

また、当会のホームページでは、会員の合格体験を記したレポート（H28～30）も掲示しております。身近にコンクリート診断士試験を受験される方がおられましたら、一読をお薦めください。

当会では、島根県の外郭団体である（公財）島根県建設技術センターが実施している「土木技術講習会」に例年講師派遣を行っており、本年はコロナ禍の中122名の受講生に対し『コンクリートの調査・診断と補修・補強技術』に関する講習会を開催しました。

更に10月には、会員有志による研究部会を組織し、「浜田漁港合併浄化槽に生じたひび割れ調査」を実施し、2月に開催する新春例会にて『調査結果および対策工法提案事例報告』を行うことを予定しています。上塗り塗装を行う特殊な事例であり、格別な配慮が必要となる事例です。調査を実施した時の状況を写真貼付します。



## 東京

### 東京コンクリート診断士の活動状況について(令和2年度)

明けましておめでとうございます。今年度の活動状況ですが、新型コロナのためほとんど活動できませんでした。まず、5月の総会ですが、新型コロナのため会員から委任状をいただき、役員によるメール審議としました。そして通常であれば、7月に技術セミナー、10月に技術フォーラムがありますが、新型コロナのため中止としました。このような状況では会員に対して申し訳ないと思い、3月に開催予定の技術研修会についてぜひ実施したいと考え、11月には講師を決め、日程調整および会場も選定し、年末までには準備を整えました。しかし、今年に入り、政府から新型コロナの緊急事態宣言が出され、中止にせざるを得ませんでした。

以上のようにこの一年は全くと言ってよいほど、新型コロナのため活動できませんでした。このような状況では会員に対して申し訳ないと考え、現在メルマガ案を作成中であり、定期的に有益な情報を会員へ発信したいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

(事務局長 大野)

# 地区診断士会 コロナ禍での活動

## 石川

### 石川県コンクリート診断士会 2020年活動記録

- 2020. 2. 27 第13回診断施工事例発表会の開催  
会員による診断や施工事例に関する発表会を開催。
- 2020. 6. 4 定期総会開催  
新旧役員のみによる定期総会を開催。会員にはWeb配信。
- 2020. 7. 29 活動報告書7月号の発行
- 2020. 10. 2 特別講演会を開催  
「建設技術者のためのコンクリートの品質確保に関する取り組み」をテーマに2人の講師を迎え、開催。
- 2020. 10. 3 津幡町「舗装きずなプロジェクト」に参加  
石川高専 津田教授が産官学民連携の取り組みとして実施されているプロジェクトに協力し、農道のコンクリート舗装を実施。
- 2020. 10. 31 浅野川橋めぐりツアーを開催  
8つの橋を会員とご家族の皆さまと共に散策。
- 2020. 11. 8 津幡町「橋梁きずなプロジェクト」に参加  
石川高専 津田教授のプロジェクトに協力し、橋梁の簡易点検を実施。
- 2020. 11. 16 活動報告書11月号の発行
- 2020. 11. 29 加賀市「橋梁きずなプロジェクト」に参加  
石川高専 津田教授のプロジェクトに協力し、橋梁の簡易点検を実施。
- 2020. 12. 4 コンクリート診断「技術講演会」を開催  
「コンクリートの補修材料・補修技術」をテーマに4人の講師を迎え、技術講演会を開催。
- 2020. 12. 1, 9 コンクリート構造物の維持管理研修への講師派遣  
石川県土木部管理課及び（公財）いしかわまちづくり技術センター主催の研修に講師を派遣。



定期総会におけるWeb配信



特別講演会の様子



「舗装きずなプロジェクト」の様子

# 地区診断士会 コロナ禍での活動

## 静岡

### 2020年を振り返って（静岡コンクリート診断士会）

会長 新井秀恭

2020年度当会の「行事」・「対外活動」の実施状況を報告します。  
当会の活動もコロナの影響により、かなりの制限を受けました。

#### 【当会の行事】

- ①2020年度 通常総会（例年6月開催）  
⇒書面決議にて総会を開催する。
- ②春の研修会（コンクリート構造物の診断・補修技術研修会）（例年6月開催）  
⇒例年官公庁職員も招いての開催だが中止する。
- ③コンクリート診断士受験対策講座（例年5月開催）  
⇒試験延期に伴い11月中旬に延期し、三密対策で計画したが参加者が集まらず中止する。
- ④現場見学会（会員のみ、構造物の劣化事例・補修現場等の見学）  
⇒見学会の受入箇所が見つからず中止する。
- ⑤秋の研修会（会員の事例発表とメーカー等の技術紹介）  
⇒Zoomを使用しオンラインでの開催、当会技術顧問の所属大学より配信する。

#### 【対外活動】

- ①「令和2年度静岡県土木技術職研修」へ講師派遣（7年連続）  
⇒三密対策の上、県及び県内市町の技術系職員を対象に実施する。  
「現場の品質確保～コンクリートのひび割れを防ぐ～」という研修科目を担当し、2名を講師派遣
- ②「令和2年度静岡県と土木施工管理技士会との意見交換会」へ講師派遣  
⇒三密対策の上、1名を講師派遣し、「コンクリートと補修の基礎」と題して講演する。

以上が当会の活動実績となります。

2021年度は、コロナ感染状況を見ながら、行事・活動を工夫実施していくつもりです。



↑「コンクリートと補修の基礎」講演の様子

←当会技術顧問所属大学の当日の様子（秋の研修会）

# 地区診断士会 コロナ禍での活動

## 新潟

当会では、令和2年度の事業計画として研修会・セミナー等の開催を予定しておりましたが、コロナ禍のため令和2年7月に開催した通常総会以降の活動をすべて自粛しております。

今後の予定として、WITHコロナの時代に即したオンライン技術セミナーを令和3年3月5日に開催し、インフラの維持管理における最新技術の紹介や地濃会長（新潟工科大学名誉教授）の特別講演を会員に配信する予定です。

他地区の皆様を紹介できるような活動がなく大変恐縮ですが、以上が新潟県コンクリート診断士会の状況報告となります。

令和2年度新潟県コンクリート診断士会事業計画（案）抜粋

コンクリート診断に関わる知識、技術、文化の向上に資するための事業

### ・現場研修会の開催（2回）

開催時期：令和2年10月・11月

研修内容（案）

- ① 保存補修工事が実施された歴史的建造物の見学
- ② KOSEN-REIMの実習フィールド、実物教材の見学

### ・技術セミナーの開催(1回)

開催時期：令和2年9月

- ① インフラの維持管理における最新技術の紹介
  - ・画像診断システム「ひびみつけ」
  - ・「ハイブリッド・塩害補修補強工法」
  - ・PC橋の内部鋼材破断の非破壊検査「SenrigaN」
- ② 現地研修会報告
  - ・旧国道49号 五十島隧道・五十島シェッド

### ・実務者報告会の開催(1回)

開催時期：令和3年2月

- ① 地濃会長特別講演「教育研究50年 感性ものづくり」
- ② 実務者からの取組み事例報告（点検、補修設計・工事、補修材料等）

新潟県コンクリート診断士会  
事務局 遠藤 潤

# 地区診断士会 コロナ禍での活動

## 北海道

『この一年を振り返って、2020年の活動（北海道コンクリート診断士会）』

北海道における2020年の新型コロナウイルス対策は、2月28日、全国に先駆けて「緊急事態宣言」による3週間の外出自粛要請から始まり、その後、幾度かの外出自粛要請が発せられたことから、当会が年初に立案しました事業計画においても、いくつかの項目が未開催となりました。実施状況は、表に示す通りです。

事業名（計画）	実施	未実施
第12回通常総会（4月開催）	◎	
特別講演会		●
コンクリート診断士普及講習会		●
第1回診断技術研修会（10月開催）	○	
第2回診断技術研修会		●
外部講師派遣（5,6,8,11月）	○	

実施項目の「総会」につきましては、会員とのメールによる送・返信によって開催し、「研修会」・「外部講師」については辛うじて実地開催を行うことができました。2021年は、リモート開催や当日資料の電子化による事前配布なども検討していく予定です。

# 地区診断士会 コロナ禍での活動

## 宮 崎

宮崎県コンクリート診断士会です。今年度は6月の総会にて、コロナの蔓延により、特に事業は行わないこと、予算も最低限で会費も徴収しないこと、を決議しました。

このように事業は特に行っておりませんが、宮崎県との技術者派遣のボランティア協定について、協議を進め、「道路施設の点検・診断等の支援に関する協定書」の締結に至りました。

これは、宮崎県からの依頼に応じて、宮崎県内の市町村に宮崎県コンクリート診断士の技術者を派遣し、点検や診断の支援を行うものです。

今後は市町村に対して、この協定を結んだことの説明などにもまわりたいところですが、コロナのため実施できておりません。

来年度も事業実施しないと会の意義も薄れてきてしまうので、来年度はオンラインセミナーなども開催を考えているところです。



## 熊 本

### 「一年を振り返って」

(一社) 熊本県コンクリート診断士会  
代表理事 勇 秀忠

昨年を振り返ると新型コロナウイルスの影響でほとんどの行事を中止にしました。年間行事を振り返れば、5月の総会（書面議決）、6月のコンクリート診断士受験直前対策講座、8月の第9回コンクリート技術講習会、10月の業務報告会などである。ただ、熊本県建設技術センター主催の6月18日（木）・19日（金）開催のコンクリート品質管理講座（受注者・発注者対象：各々72名参加）の講師派遣だけは主催者からの依頼で協力ができました。

コロナ禍である中、一昨年からの準備段取りしてきた県内小学校等への出前講座も関係機関等からの令和3年へ延期された。その環境の中でも役員各位で令和3年開催に向け合議を行い、内容協議を進めて準備している。更には、コンクリート品質講座を担う担当診断士の責任やその重要性等を鑑み、（一財）熊本県建設技術センターと「研修事業の講義協力に関する協定書」を3月の年度末までに締結する運びとなったことは今後のコンクリート診断士各位の励みになると思っています。

令和3年においては、新型コロナウイルスに対するワクチン等の接種が可能になると思われるが今の生活様式は継続される一年だと推測する。本年執行する行事に関しては感染予防対策に万全を施し、熊本県コンクリート診断士会の活動の継続強化に全力を尽くしていきたいと思っています。

今後も（一社）日本コンクリート診断士会との連携を強化しながら地域でのコンクリート診断士の知名度向上と知見向上に努めていき、地域のシンクタンクを目指したいと考えております。

# 法人会員保有技術の紹介

## コンクリート塩害劣化防止表面含浸工法

### T&C防食-塩害用-

東京都港湾局新材料・新工法  
登録No.24010

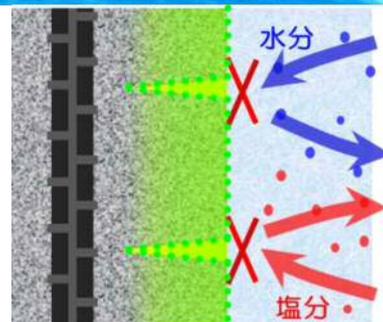
福岡新技術・新工法  
登録No.1301006A

兵庫県新技術  
登録No.140022

NETIS登録番号

HKK-110001-VR

「T&C防食-塩害用-」は、性質の異なる2種類の含浸材をコンクリート表面に塗布することで、質感そのままに緻密化・疎水性を同時に付与することができます。  
塩化物イオンなど劣化因子の侵入を効果的に抑制し、コンクリート構造物の耐久性を飛躍的に向上させます。



## T&C防食-塩害用-の特徴

- ① 抜群の塩化物イオン侵入抑制効果を発揮します。
- ② コンクリート表層を緻密化し、且つ疎水性効果を付与します。
- ③ 速乾性に優れ、海洋環境における施工性も向上します。
- ④ 高い安全性能を保有し、環境汚染の心配はありません。



## T&C防食-塩害用-の性能

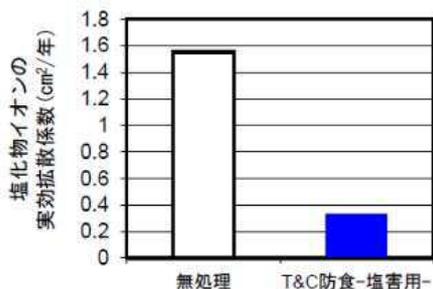
### ◆電気泳動試験

W/C=55%の普通ポルトランドセメント、高炉セメントB種を使用した厚さ5cmのコンクリート供試体に、電氣的に塩化物イオンを通過させる電気泳動試験を実施しました。その結果、「T&C防食-塩害用-」を塗布することでセメント種類に関係することなく、コンクリート内部への塩化物イオンの浸透(実効拡散係数)を無処理の場合と比較し80%程度低減できることを確認しました。

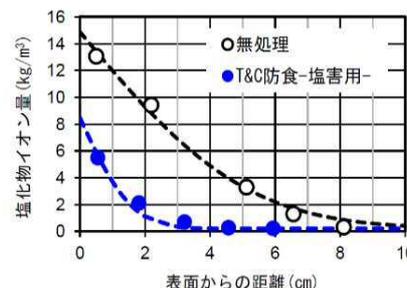
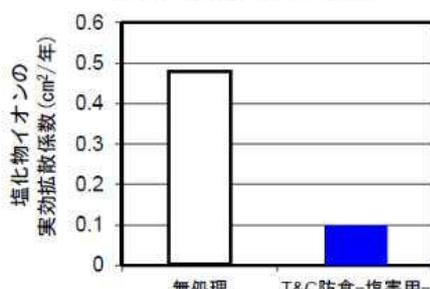
### ◆塩化物イオン濃度分布測定

10%NaCl溶液に1年間浸漬した後、塩化物イオン濃度分布を電位差滴定法により確認しました。その結果、「T&C防食-塩害用-」を塗布することでコンクリート内部への塩化物イオンの浸透(見掛けの拡散係数)を無処理の場合と比較し80%以上低減できることを確認しました。供試体：W/C=55%、普通ポルトランドセメントを使用したコンクリート

W/C=55% 普通ポルトランドセメント



W/C=55% 高炉セメントB種



# JCDかわら版

一般社団法人 日本コンクリート診断士会

日本建築学会建築保全標準(鉄筋コンクリート造建築物)に期待する

(一社)日本コンクリート診断士会 副会長 橋高義典

温室効果ガスの削減目標達成を背景として、従来のフロー型社会に変わり建築物をより長期に使用するストック型社会への移行が求められています。そのような中、本年2月に日本建築学会・材料施工委員会より「建築保全標準・同解説(鉄筋コンクリート造建築物)」が発刊されました。本書は鉄筋コンクリート造の維持保全に関して標準的な方法を示したものであり、これまでの建築関係の指針・仕様書類とは異なりユニークな内容となっています。というのも、日本建築学会が発刊している約30種に及ぶ建築工事標準仕様書・同解説(JASS)は、新築工事を対象としたものであり、建物の長期維持に必要な補修改修工事などについては触れていないからです。広く活用されているJASS5は、新築時の鉄筋コンクリート工事の施工標準として建築物の質的向上と合理化に貢献していますが、近年問題となっているコンクリートの種々の劣化に対する診断・改修などについては、標準仕様書などの整備が遅れていました。国土交通省大臣官房官庁営繕部が発行する建築保全業務共通仕様書は、建物の維持管理に関する仕様書の一つですが、主に官公庁の建物を対象としたものであり一般的な鉄筋コンクリート造建物に対しては今回の建築保全標準が汎用性がありその適用範囲ははるかに広いです。また、日本建築学会では今まで補修改修に関する指針、考え方などは示してきましたが、仕様書としての標準を示したのは初めてです。建築保全標準はJAMS (Japanese Architectural Maintenance Standard)と略され、JASSと並んで今後耳にする機会が増えると思われれます。JAMS(鉄筋コンクリート造建築物)は3冊からなりますが、分冊である「JAMS2-RC点検標準仕様書-鉄筋コンクリート造建築物」の中では、鉄筋コンクリート構造体の調査・診断計画書の作成者に求められる資格の一つとして、コンクリート診断士が明記されています。建物の長期使用が求められる中、鉄筋コンクリート造建築物の長期品質向上にJAMSは大きく貢献すると考えられ、その役割の一部を担うコンクリート診断士の活躍にも大きく期待したいと思います。

## 活動近況

2021.5.28  
定時総会を书面決議にて開催

皆様のご健康を祈念しております

詳しくはHPをご覧ください  
<http://www.jcd-net.or.jp/>

# 総 会 報 告

## 2021年度（第12回）定時社員総会 成立の報告

総務部会長 竹内祥一

令和3年5月28日に電磁的記録により開催しました「2021年度（第12回）定時社員総会」は、議決権数1563名に対して、出席者数1名、委任状出席916名、合計917名となり、過半数である782名を上回っておりますので「2021年度（第12回）定時社員総会」の議案はすべて可決されましたことを報告いたします。

### 【議案概略】

#### 第1号議案 2020年度事業および収支報告について

- 総務部会：第11回定時社員総会を実施、10周年記念誌の発刊のみ決定、第12回定時社員総会の計画、定款細則の見直し変更についての検討
- 企画部会：部会長会議を2回開催、JCIと意見交換会の開催、他部会のサポートとブラッシュアップの提案
- 財務部会：上半期の中間決算を行った、試算表を基に2020年度の収支予測を行った、2020年度決算の実施
- 技術部会：2020年次発表会は中止
- 広報部会：かわら版の発行JCIに配信 HPに掲載 全国の自治体に郵送、HP改定、10周年記念誌の完成
- 会員部会：コロナ禍により加入促進等できなかつた、広島県コンクリート診断士会が脱会、法人会員は1社入会1社退会、その他未加入診断士会は7地区（山口県、奈良県、香川県、福岡県、宮城県、山形県、広島県）
- 事務局：理事 各部会および地区診断士会間の連絡調整、業務が円滑に行えるよう環境整備、部会活動の支援、総会 理事会 部会長会議等を計画開催、理事会や部会長会議は電話やメールにて調整、理事会活動実績（割愛）

- 2020年度収支報告および監査報告：（割愛）

#### 第2号議案 2021年度事業および収支計画について

- 総務部会：2021年度（第12回）定時社員総会の実施、定款・細則について今後の会の運営方針や時代に合った内容への変更を検討、事務局運営のフォロー
- 企画部会：日本コンクリート工学会との意見交換会の開催、部会長会議の開催（2回／年）、他部会の事業のサポートとブラッシュアップ
- 財務部会：中間決算（上半期分）の実施、2021年度決算の実施、適時試算表の確認を行い総務と協働して健全な財務体質の構築に努める
- 技術部会：JCD2021年次発表会は2021.11.12（金）宮崎県コンクリート診断士会主管にて計画する、次回年次発表会開催地は理事会で検討し決定、講師派遣、コンクリート診断士受験者支援と診断士の資格所有者に対する技術力向上支援等への対応、コンクリート診断士技術力向上研修会の開催
- 広報部会：かわら版の発行 全国の都道府県への配布を行う、HPの改定（保守管理方法等の再検討）
- 会員部会：未加入地区診断士会の加入促進、空白地区の診断士会設立支援、個人会員、法人会員の加入促進
- 事務局：会長 副会長 理事 各部会および地区診断士会間の調整、会員名簿の整備、会員証の内容の修正等、会  
員管理の充実を図る、各部会の活動支援、事務局長を逆井直人から竹内祥一に変更
- 2021年度収支計画：（割愛）

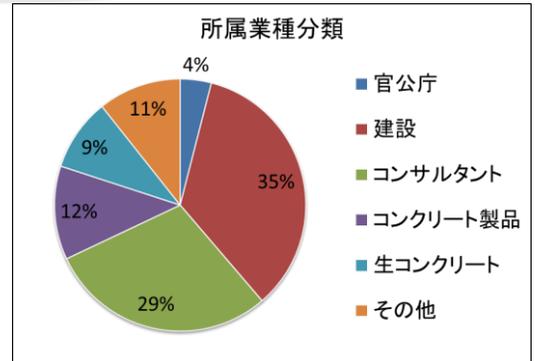
### 【報告】

- 会員数等報告：学術会員41名、正会員1522名、賛助会員113名、法人会員79社
- JCI コンクリート工学年次大会 2021（名古屋）のご案内
- 各地区コンクリート診断士会の活動報告
- 設立10周年記念誌について2021年5月中に発送を完了

# 地区診断士会の紹介

## 岡山県コンクリート診断士会

**正会員 76名**  
**準会員 6名**  
**賛助会員(法人) 35社**



岡山県コンクリート診断士会は、平成28年4月に設立され、設立5周年を迎えました。上記に記載のとおり、多くの方に、また幅広い分野から参加して頂いています。活動内容は、「総会」、「情報提供会」、「コンクリート診断士受験対策講座」、「現場見学会」です。昨年は、新型コロナウイルスの影響もあり、多くの活動が制限されましたが、設立5周年を記念して、これまでの5年間にわたり活動してきた活動内容を「テクニカルレポート」として取りまとめ、会員に配布することができました。また、PRを兼ねて一部の発注者に配布しています。

総会では、毎回65名前後の参加者があり、特別講演を開催するとともに総会後には講演者を取り囲んだ懇親会を設け、意見交換を行っています。講演者は、大阪大学の鎌田教授、京都大学の河野教授、岡山大学の塚田教授の3名の学識経験者と首都高速道路の佐々木元技術部長から貴重な講演を頂きました。

情報提供会では、賛助会員(法人)各社から、全8回にわたり、主にコンクリート構造物の点検・調査・補修・補強に関する技術・工法の紹介、点検・調査報告、工事報告等多岐にわたっています。

コンクリート診断士受験対策講座では、まだ資格を取得していない準会員や会員以外の方を対象に年2回計8回開催されています。コンクリート診断士試験の過去問題や新たに問題を作成しながら択一問題や筆記問題について解説・模擬試験などを行っています。過去の平均合格率は約13%となっています。

現場見学会は、各企業の協力により3回開催しています。

今後の活動は、会員相互の親睦と技術力の向上を図り、社会の発展や安全に貢献することを目的に活動して参ります。このため、会員のみならず発注者や一般の方にも情報発信に取り組んで行きたいと考えています。

情報提供会



懇親会



# 法人会員保有技術の紹介

## 新技術紹介

### 鋼とコンクリート複合構造物の一体性向上用吹付モルタル **太平洋ゴムラテコーティング**

国土交通省 新技術情報提供システム  
NETIS登録番号 Q S-1800041-A

#### Introduction

ゴムラテコーティングは、鋼とコンクリートの複合物において、鋼材表面にあらかじめ吹付施工するだけで強い付着力により鋼とコンクリートの一体化をはかります。優れた**硬化性**や**防錆効果**を持つゴムラテックスモルタルの特性により、構造物の耐久性を向上させることができます。

#### Products



ゴムラテコーティングパウダー  
20kg/袋

ゴムラテ混和液  
18kg/缶

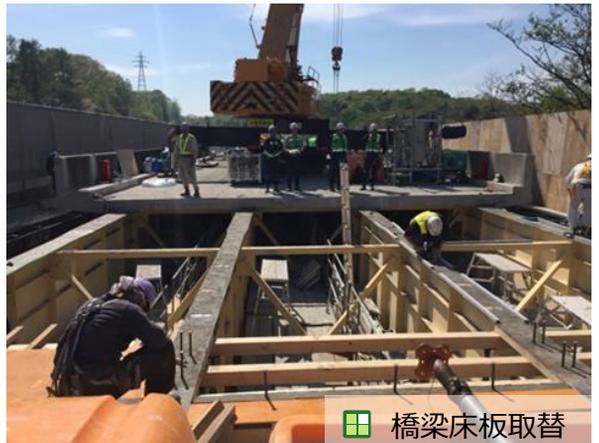
#### ■ 配合例

ゴムラテコーティングパウダー	ゴムラテ混和液
20kg (1袋)	3.5~3.8kg

■ 厚み=3mmの時、1袋当たり約4㎡



合成床版



橋梁床板取替



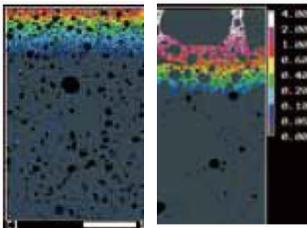
鋼材表面施工



鋼桁上面施工

#### Performance

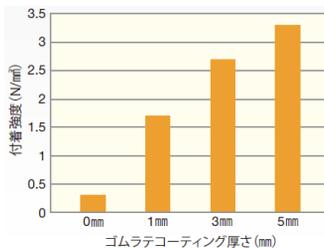
塩化物イオン拡散イメージ



ゴムラテコーティング

コンクリート

鋼とコンクリートの接合強度



20℃、気中養生 材齢28日

## 株式会社三好商会

〒220-0004  
神奈川県横浜市西区北幸2-8-4 横浜西口KNビル  
TEL:045-328-3440 FAX:045-324-5029

## 太平洋マテリアル株式会社

東京支社  
〒114-0014  
東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階  
TEL:03-5832-5241 FAX:03-5832-5271

# 法人会員保有技術の紹介

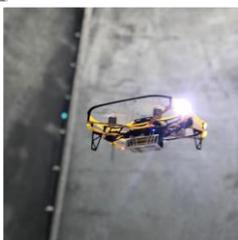
## 狭所空間点検・調査ドローン(マイクロドローン)のご紹介

狭いところ、暗いところ、高い従来点検不可能な場所を  
マイクロドローンが飛行し調査します。



従来のドローンと異なる手のひらサイズのマイクロドローンがリスクを伴う点検業務に活躍します。橋梁の箱桁の内部やトンネルの中のコンクリートのクラック、漏水、エフロ等の変状を人間の目視に代わり観察し動画データを取得する。そこから3次元解析、オルソーデータ、点群データなど取得する。弊社は、このドローンを用い点検業務を請け負います。

### ▶ LEDライトを搭載



### ▶ 小さくて、軽い



φ500mmの空間があれば飛行可能。重量が185gのため、万一の墜落の場合も施設与える損傷は考えにくい。

## IBISで点検する施設・設備

### ■ 煙突内部



### ■ 配管 (ダクト) 内部



### ■ ボイラー内部



### ■ 天井裏・地下ピット



### ■ 橋梁・高速道路の箱桁内部



### ■ 天井梁・エレベーター・立体駐車場



非破壊検査機器合同会社

URL <https://hihakai-kiki.jp>

〒188-0012東京都西東京市南町6-6-16-315

Tel:080-1151-8464/042-1633-1633

代表 小原勝次 E-mail:k-obara@hihakai-kensa.com

# 法人会員保有技術の紹介

## プロコンシートによる コンクリート構造物の長寿命化への提案

アイエスティー株式会社  
〒104-0061 東京都中央区銀座8-10-3  
銀座三鈴ビル8F

### 1. はじめに

今までに蓄積された土木構造物および建築物は膨大な量であり、損傷程度を考慮しながら補修や改修を行い維持保全に努めているが、その際に発生する費用は膨大な額となっている。ここでは、サイトやコンクリート製品工場にて型枠に特殊なシートを貼り付けて製作したコンクリート部材を提供し、コンクリート構造物の長寿命化を図ることを目的に提案するものである。

### 2. シートの概要

シートはプロコンシートと称し、ポリプロピレン製等の不織布を熱加工して水と空気だけを吸収および透水する特殊な積層シートです。仕様はロールタイプで幅1000mm、長さ30m、厚さは約1.0mm、裏面はのり付きです。(図-1)

### 3. プロコンシートの特徴

プロコンシートはコンクリート表面のピンホールやボイドを除去し、平滑な表面とすることができます。(図-2) また、コンクリートの表層の余剰水を吸収し、水セメント比が小さくなり、シートの保水機能がコンクリート表層の水和反応を促進させ、表層の品質が向上します。

### 4. コンクリートの物性

表-1 コンクリートの配合

試験に用いた配合を表-1に示す。水セメント比は55%、細骨材率は46%とした。

W/C	s/a	目標値		単位量(kg/m <sup>3</sup> )				混和剤添加率(C×%)	
		スランプ(cm)	空気量(%)	W	C	S	G	AD1	AD2
55	46.0	12±2.5	4.5±1.5	163	296	822	996	0.25	0.002

試験項目、試験体の概要および

試験方法は表-2に示す。試験体作製には図-3に示す通り鋼製、木製型枠を使用した。

表-2 試験体作製一覧表

項目	試験体(mm)	試験体概要	試験方法
断面観察	100×100×50	型枠側面にシート有・無	走査電子顕微鏡(SEM)により観察
圧縮強度	φ100×200	型枠内部側面にシート有・無	JIA A 1108「コンクリートの圧縮試験方法」
吸水率	100×100×400	型枠側面にシート有・無	JSCE-K571「表面含浸材の試験方法 6.4吸水率試験」
耐摩耗性	100×100×50	型枠側面にシート有・無	JIS K 7204「プラスチック-摩耗輪による摩耗試験方法」
中性化	100×100×400	型枠側面にシート有・無	JIS A 1153「コンクリートの促進中性化試験方法」
透気性	150×150×530	型枠側面(2面)にシート有・無	トレント法
凍結融解	100×100×400	木製型枠側面(4面)にシート有・無	JIS A 1148「コンクリートの凍結融解試験方法(A法)」

#### ①表面、表層の拡大観察 (以下プロコンシートをシート有と示す)

脱型したコンクリートの表面の拡大写真を図-4に示す。シート無は型枠界面をブリーディング水の上昇でコンクリート表面が凸凹になっている。一方、シート有ではブリーディングの発生が無くブリーディング水の移動がないためコンクリート表面が平滑になっている。

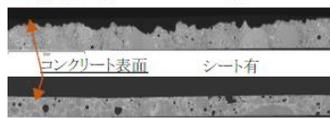


図-4 脱型後のコンクリート表面×100倍

表層から1mm深さ付近の拡大断面写真を図-5に示す。シート無は全体的に黒っぽく空隙(隙間)の多い組織が認められる一方、シート有は全体的に白っぽく緻密な組織となっている。(白い断面部はセメント粒子)

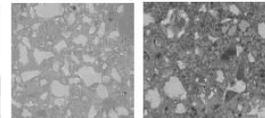
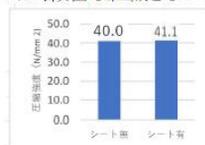


図-5 表層1mm深さ付近×500倍

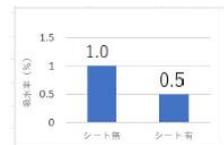
#### ②圧縮強度

シート無は40.0N/mm<sup>2</sup>、シート有は41.1N/mm<sup>2</sup>でシートによる強度差はなく、同様な圧縮強度であった。



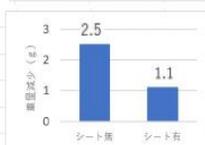
#### ③吸水率

シート無は1.0%、シート有は0.5%でシート有はシート無に比較して1/2であった。この差は表層部の緻密さによるものである。



#### ④耐摩耗性;1000回転

シート無は2.5g、シート有は1.1gでシート有の重量減少はシート無に比較して1/2であった。この差は表層の緻密さによるものである。



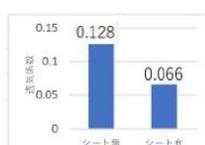
#### ⑤中性化;36週(CO<sub>2</sub>濃度;5.0%)

シート無は8.6mm、シート有は6.0mmで、シート無に比較して約70%であった。この差は表層の緻密さによるもので、鉄筋の腐食を遅らせる事が出来る。



#### ⑥透気性能

シート無は0.128、シート有は0.066で、グレーディングとしては、シート無は一般、シート有は良の評価であった。シート有のコンクリートの表層はシート無に比較して密実であるとの評価である。



#### ⑦凍結融解;300サイクル

シート無の表面は、粗骨材も露出している一方、シート有の表面は、損傷もなく健全である。耐久性指数はシート無44、シート有96であった。

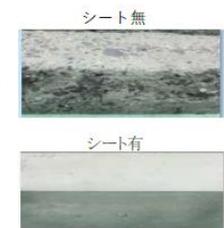
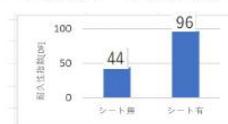


図-6 300サイクル後の外観

表-3 品質(評価)のグレーディング

透気係数	優	良	一般	劣	極劣
kT(10 <sup>-10</sup> m <sup>2</sup> )	0.001~0.01	0.01~0.1	0.1~1	1~10	10~100

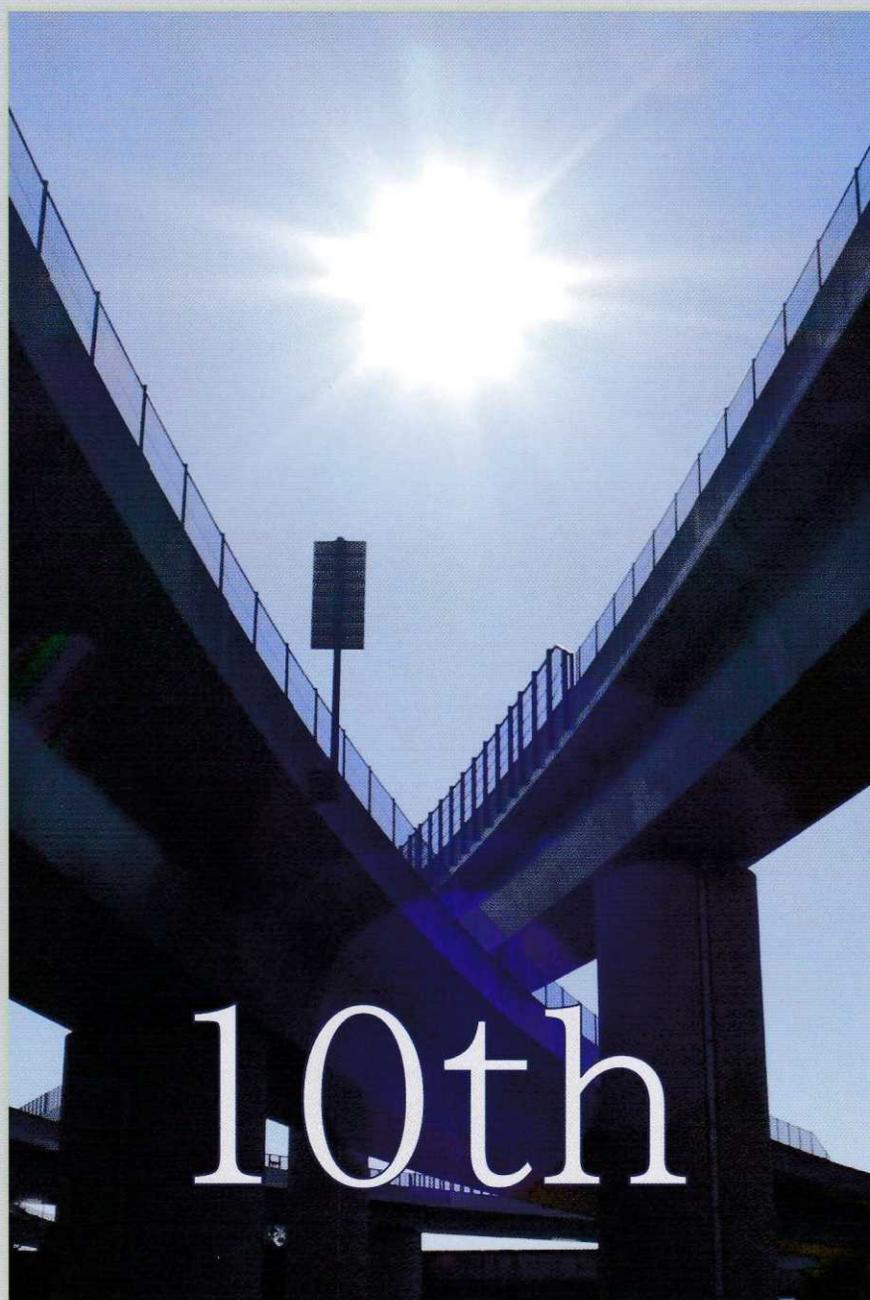
備考 試験機関;株式会社太平洋コンサルタント

問合せ先; 代表取締役 近森精志 TEL.03-3569-3339

E-mail : info@istcorp.co.jp

URL : http://www.istcorp.co.jp

**JCD**



## 設立10周年記念誌

一般社団法人 日本コンクリート診断士会

# コンクリート診断士会10周年を迎えて



## (一社) 日本コンクリート診断士会 会長 林 静雄

コンクリートは高い耐久性能を有している優れた構造材料ですが、コンクリートの劣化メカニズムに対して十分な知識がなかった年代に建設された構造物や高度成長期に工期やコストの制約から十分な注意が払われないうちに建設されてしまった構造物などもあり、コンクリート造構造物に劣化が目に見える形で表れ、社会問題にまで発展してしまうケースも現れるようになってきた状況を踏まえ、日本コンクリート工学協会（現日本コンクリート工学会）がコンクリート診断士制度を立ち上げ、第1回のコンクリート診断士試験が行われたのは2001年7月のことです。

コンクリート診断士に望まれるのは、幅広い知識と実践的能力であることを踏まえ、コンクリート診断士相互での勉強会や情報交換が行われるようになり、福井県をはじめ、各地にコンクリート診断士会が発足しました。地区ごとのコンクリート診断士会が全国に展開し始めたことから、地区コンクリート診断士会のプラットフォームとしての役割を担う日本コンクリート診断士会の設立が必要であると考えられるようになりました。そこで、すでに設立されていた14地区のコンクリート診断士会が集まって議論を重ね、2010年に本会を設立するに至りました。

この10年間、日本コンクリート診断士会を構成する地区コンクリート診断士会も20地区となり、会員数も法人会員を含め1800名強と約3倍にまで発展してきました。これも、会員皆様の努力とともに、コンクリート工学会をはじめとして、全国の自治体、大学など、関係者の皆様のご協力のおかげと感謝しております。

日本コンクリート診断士会のコンセプトは、以下の3点であると考えています。

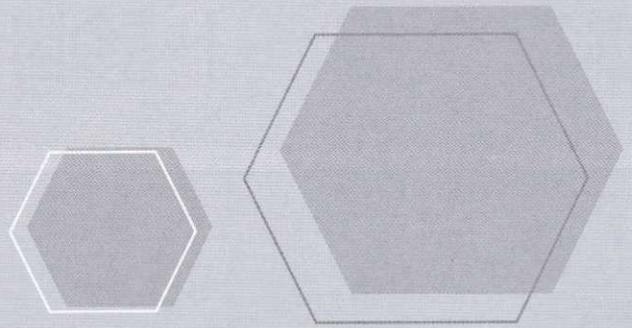
1. コンクリート診断士の信頼を高め、コンクリート診断士の社会的地位向上を図る
2. 地域に貢献する
3. プラットホームとして、全国のコンクリート診断士の連携を強化する

このコンセプトを実行するために、この10年間手探りで走ってまいりました。これをさらに充実させるために、一丸となって頑張っていかなければなりません。会員の皆様のご協力と関係各位のご支援を賜りたく、お願い申し上げます。



# 設立準備会

JCDの歴史はここから始まった



21年) 3月 9日 (月曜日)

(第三種郵便物認可)

セメント新聞

診断士会はこれまでに14都道府県で組織されている。2月26日に東京で各地の代表者が集まってパネル討論会を開いて意見を交換した結果、全国団体を設立することで合意した。東京診断士会の小野定会長を主席とするワーキンググループを設置し、具体的な検討に着手することになった。



12診断士会の代表が意見交換

討論会は東京工業大学の林静雄教授が司会をつとめ、オファーパーとして阪田憲次JCI会長も出席し議論に加わった。コンクリート診断士の登録資格者は現在、6500人前後、これに対して14診断士会の所属会員数は約1割の700人弱となっている。全国団体の設立で組織率が高まる効果も予想され、阪田会長も「資格者が1万人を突破するなど、ある程度のスケールになると社会的認知は格段に向上する。全国団体がパイプ役になっていければ診断士制度

の運営もより円滑に進むだろう」と述べ、賛同する考えを示した。

また、同制度への社会的な信頼・評価が高まれば維持補修工事等で資格者が優遇され、活躍の場も広がる。新潟では国交省官庁工事等でコンクリート構造物の初期欠陥について診断士に評価を求めるシステムができつつあり、この間に十数件の実績があるという。

この討論会は東京診断士会の技術セミナーに併催する形で企画されたもので、青森と富山は都合により欠席したが、全国団体設立については賛同している。14診断士会の概要は次のとおり。

北海道(09年1月設立、上原泰正会長、会員数76)▽青森県(06年9

- 月、奈良裕会長、20)▽新潟県(08年10月、丸山久(会長、65)▽ながの(03年12月に生コン業界従事者により設立、日堂俊之(会長、12)▽東京(05年11月、小野定会長、139)▽富山県(07年7月、安川栄志会長、57)▽石川県(06年6月、農田法会長、64)▽福井県(04年3月、石川裕夏(会長、60)▽静岡県(06年12月、名倉昭三(会長、34)▽京滋(08年8月、長谷川光弘(会長、64)▽鳥取県(05年5月、有本尚己(会長、30)▽島根県(05年6月、井田豊(会長、30)▽高知県(08年8月、秋友一(会長、18)▽NPO法人大分県(06年1月、佐藤嘉昭(理事長、42)

**コンクリート診断士 連合会を来春設立へ**  
**WG設置し準備パイプ役も**  
 JCIとのパイプ役も

全国コンクリート診断士会連合会(仮称)が、来春にも設立される見通しとなった。日本コンクリート工学協会(JCI)との調整役としての期待も大きい。ため事務所はJCIと同じビル内に置き、各地の診断士会が連携し、研鑽を積みながら広報活動等を通じて社会的認知の向上を図るとともに、JCIが4年ごとに実施する診断士資格者の更新研修を支援することになる模様だ。将来的には社団法人化、あるいはNPO法人化を目指すとしている。

2008年 福井県と大分県で開催されたワークショップ「安全・安心を材料の観点から推進するセキュアマテリアルの開拓ー共同利用研究(東京工業大学応用セラミックス研究所)代表者 小野 定一」で、初めて各地区のコンクリート診断士会の現状、問題点について情報・意見交換がなされた事が、JCD設立への第一歩である。そして2009年2月に開催された同ワークショップにて、その時設立されていた地区診断士会(14地区)が一丸となりJCD設立に向けて舵を切ったのである。

# 設立趣意書

すべての診断士の皆様の為に…

わが国では、戦後から高度経済成長期にかけて、道路、ダム、港湾、鉄道、建築物等の社会資本の整備が図られ、膨大な投資が繰り返された結果、多くのコンクリート構造物が構築されてきました。これらのコンクリート構造物は、経年とともに老朽化が進み、一斉に経年劣化が顕在化し、重大事故の発生に繋がる懸念されています。このことから、老朽化した大量のコンクリート構造物のストックを、効率的に維持管理し、活用することが今後の構造物の管理者、技術者に課せられた最大の課題となっています。

しかしながら、既存コンクリート構造物を適切に維持管理できる専門技術者は極めて少ないのが現状です。その大きな理由は、構造物の維持管理には、コンクリートの新設に関する技術のみならず、調査・診断、補修・補強、維持管理などのきわめて広範な技術が要求され、さらに相当の経験が必要であることによるものと思われます。

このような社会の要請に応えるべく、日本コンクリート工学協会（JCI）ではコンクリート診断士制度を創設し、診断、補修・補強にかかわる専門技術者を社会に輩出しています。そして、2001年に実施された第一回から2009年の第9回診断士試験までに7,460名（2010.4.1登録者数）のコンクリート診断士を社会に送り出し、高い評価を受けています。

しかしながら、コンクリート構造物の維持管理に関する技術進歩は著しく、個々の診断士が最新技術を常に保有・活用し、社会に貢献していくには現状では十分な対応が出来ず、社会的地位の確立には至っていない状況にあります。

そこで、各地区に設立されているコンクリート診断士会の活動を強力に支援しつつ、効率的な連携により、コンクリート診断士の技術力向上を図り、構造物管理者へのPR等を通じて診断士制度の目的達成のために組織的な活動を通して社会へ貢献するとともに、診断士の社会的信用・地位を向上することが必要です。

これらのことを実現するために現在、各地区に設立されている診断士会の活動を「全国組織に拡大させ、より強固なものとする」として診断士会を全国組織化することの目的であり、その結果として大きなメリットが得られると考えます。よって、全国的な診断士資格を有する者の集まりとして「日本コンクリート診断士会」を設立することをご提案いたします。

本主旨をご理解の上、是非本会に御参加いただき、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお本提案は、日本コンクリート工学協会のご指導・ご支援をいただきながら進めてまいります。

(以上)

# 沿 革

いままでの10年を振り返る…

## 【2010年】



日本コンクリート診断士会が設立  
2010年7月23日設立総会  
会員数636名  
法人会員41社

一般社団法人として認定  
2010年9月6日



- ◎ ホームページの開設
- ◎ 新潟県で合同見学会の開催
- ◎ 診断士受験対策講座の開催開始  
講座は現在も続けられている

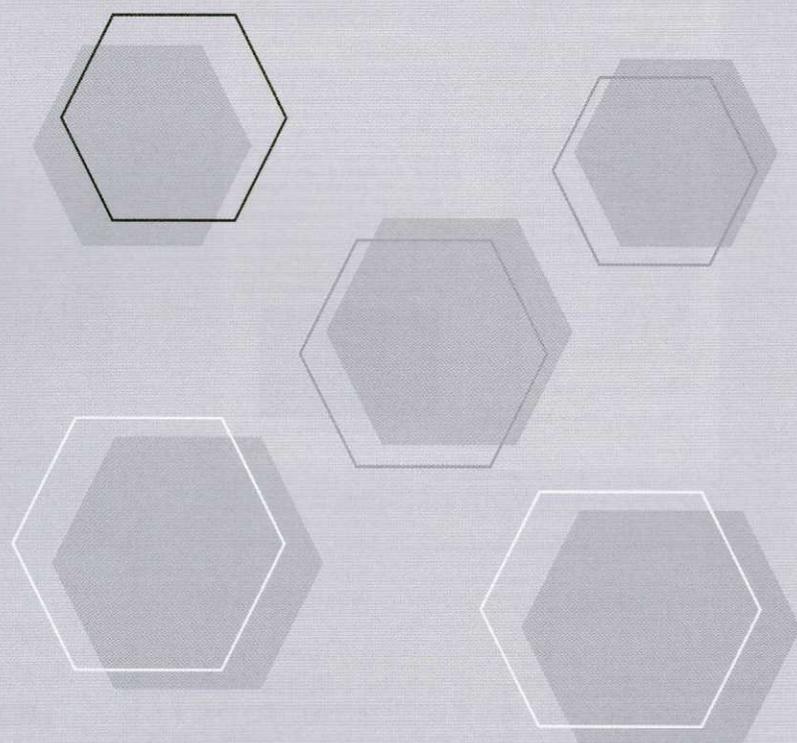
# JCD

Japan Society of Concrete Diagnosis and Maintenance Engineers

コンクリート構造物の  
安全性と維持管理に貢献するために、  
全国のスペシャリストたちが、  
今ここに、結集しました。

## 【2011年】

- ◎ JCIサステイナブル委員会に参加
- ◎ JCDパンフレットの作成
- ◎ 会員証の作成・配布
- ◎ 東日本大震災の被災状況調査の実施
- ◎ 東京で合同見学会の開催



## 【2012年】

- ◎ JCD行動規範を制定
- ◎ HPに診断士受験コーナーを新設
- ◎ 静岡で合同見学会を開催
- ◎ 各地区に講師派遣  
(静岡・長野・新潟・大分・京滋・北陸三県)



# 【2013年】

- ◎ JCIインフラドック委員会に参加
- ◎ 第1回業務体験発表会の開催（東京）
- ◎ 筑波で合同見学会を開催



コンクリート工学2014.6に掲載された記事



## 一般社団法人日本コンクリート診断士会行動規範

本会員は、日本コンクリート工学会の定めたコンクリート診断士倫理規定を遵守し、コンクリート構造物の信頼性を高め、社会基盤の整備に寄与することを念頭に置き行動するものとする。また、その使命、社会的地位および職責を自覚し、コンクリート構造物の診断技術の研鑽に励み、つねに中立・公正を心がけ、専門技術者としての自負を持ち、本行動規範の実践に努め行動する。

### （品位の保持）

1. 本会員は、つねに品位の保持に努め、強い責任感をもって職務を遂行する。

### （名称の表示）

2. 本会の正会員は、診断行為を実施する際、「コンクリート診断士」であることを表示する。

### （信用失墜行為の禁止）

3. 本会員は、改ざん、ねつ造、偽造、偽装など当会の信用を失墜する行為をしない。

### （守秘義務）

4. 本会員は、業務で知りえた情報を、依頼者の許可なしに外部に漏らす、あるいは、他の目的に使用するなどの行為をしない。

### （技術の研鑽）

5. 本会員は、つねに専門技術を研鑽し、その向上を図る。

### （中立・公正の堅持）

6. 本会員は、診断業務を行うにあたり、利害関係にとらわれることなく、中立・公正を堅持する。

7. 本会員は、専門的知識、技術、経験を踏まえ、総合的見地から診断を遂行する。

### （業務の報酬）

8. 本会員は、業務の依頼者に対して正当な報酬を請求する。

### （明確な契約）

9. 本会員は、業務を受託するにあたり、業務開始前に依頼者に対し自己の立場、業務範囲などを明確に表明して契約を結び、当該業務遂行上両者間で紛争が生じないように努める。

### （公正、自由な競争）

10. 本会員は、公正かつ自由な競争の維持に努める。

### （診断士相互の信頼）

11. 本会員は、全てのコンクリート診断士と相互に信頼し合い、相手の立場を尊重し、他のコンクリート診断士の名誉を傷つけ、あるいは業務を妨げるようなことはしない。

### （他分野の専門家との連携）

12. 本会員は、業務に必要な場合は、進んで他の専門家、あるいは技術者と連携することに努める。

### （人材の育成）

13. 本会員は、自己の人格、知識、および経験を活用して人材の育成に努め、それらの人々の専門的能力を向上させるための支援を行う。

以上

月刊 JCD 2014年 第10号

# JCDかわら版

一般社団法人 日本コンクリート診断士会

メールかわら版発刊にあたって

メールかわら版第1号を皆様にお届けすることができ、大変うれしく存じます。このメールかわら版が、全国の会員の連携と診断士会のより一層の発展につながることを期待しています。

会長 林 静雄



## 広報部会としての初仕事が大役となりました

今年より広報部会長を務めさせて頂いております。静岡コンクリート診断士会(SCD)の会費です。初仕事でJCDのかわら版作成とのこと、いろいろと悩みましたが、幹事会メンバー等の応援の元、なんとか形になりました。SCDを築き上げて8年になりますが、高宇宮の様々なメンバーに囲まれ多くの体験と色々な考え方を経験させて頂きました。また、全国の診断士の方々との交流は、診断士としての仕事以上の大事な仲間を得る機会になったと感じています。全国総会として日本コンクリート診断士会が築き上げて3年が経過しました。SCD以上に様々な職種の方々が一つの確意の元集った会ですから、これからの多くの方々の交流と技術の研鑽の助けになればという気持ちで奮闘し、今回のメールかわら版を発刊させて頂きました。初刊のかわら版という事もあり、まだまだ至らぬ点も多いと思いますが、会員の皆様のご意見を頂きながら、今後もっと素晴らしいかわら版として行きたいと思っておりますので、ご意見ご感想頂ければ幸いです。

### 活動近況

- 2014. 9 第10回定例会員総会
  - 2014. 6 診断士受験対策講座
  - 2014. 5 石川県建設工事見学会
  - 2014. 9 東京・長野合同見学会
  - 2014. 11 第3回業務体験発表会 予定
- 詳しくはHPをご覧ください



日本コンクリート診断士会 幹事  
静岡コンクリート診断士会 会長 堀二

小野副会長を静岡に迎え合同での調査を行いました。現場での様々な意見が我々の大きな財産となりました。



## 【2014年】

- ◎ 部会長会議の開催
- ◎ JCIとの意見交換会の開催
- ◎ 第2回業務体験発表会の開催（東京）
- ◎ メールかわら版の発刊
- ◎ 会員証の裏面に行動規範抜粋を記載

## 【2015年】

- ◎ 第3回業務体験発表会の開催（石川県）
- ◎ 石川県で合同見学会を開催
- ◎ JCIとの意見交換会の開催
- ◎ JCI年次大会の国土交通省担当官による講演会でJCDをPR



## 【2016年】

- ◎ 「コンクリート診断士会のこれからを考える討論会」の開催
- ◎ コンクリート診断士技術力向上研修会の開催
- ◎ 第4回業務体験発表会の開催（東京）
- ◎ 法人会員の保有技術をHPに掲載
- ◎ 部会長会議を年2回開催とした

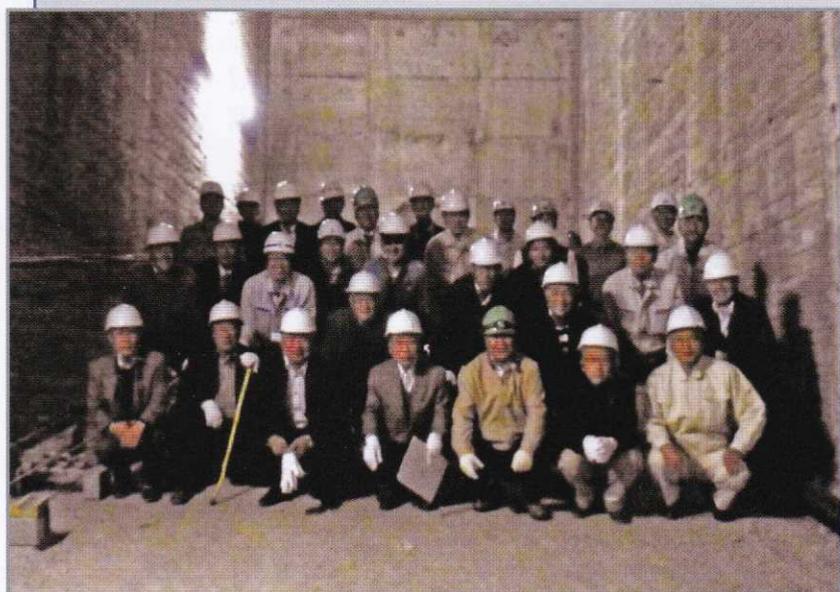


## 【2017年】

- ◎ 第5回業務体験発表会と第1回保有技術発表会の同時開催（名古屋）
- ◎ 愛知県にて合同現場見学会の開催
- ◎ インフラメンテナンス国民会議に参画
- ◎ 「コンクリート診断士会のこれからを考える討論会V0L2」の開催

## 【2018年】

- ◎ 「コンクリート診断士会の魅力づくり討論会」の開催
- ◎ 第6回業務体験発表会・第2回保有技術発表会の開催（東京）
- ◎ メールかわら版を非会員にも閲覧できるようにHPに掲載した
- ◎ ハツ場ダムにて合同見学会を実施



## 【2019年】

- ◎ 事務局を名古屋に移転
- ◎ 第1回JCD年次大会として業務体験発表会と保有技術発表会を開催した（高知）
- ◎ 高知県にて合同見学会を実施

# 会員の推移

№	名 称	設立	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1	福井県コンクリート診断士会	50	66	75	83	87	104	116	128	148	154
2	鳥取県コンクリート診断士会	34	24	24	26	32	37	44	48	50	55
3	島根県コンクリート診断士会	43	57	58	64	65	75	78	87	89	91
4	東京コンクリート診断士会	140	157	166	182	191	189	211	212	198	192
5	NPO法人 石川県コンクリート診断士会	55	62	62	72	72	80	80	104	103	107
6	NPO法人 大分県コンクリート診断士会	49	52	52	62	69	72	72	72	79	81
7	青森県コンクリート診断士会	24	31	32	37	43	49	51	53	55	55
8	静岡コンクリート診断士会	45	34	42	44	50	61	68	73	76	77
9	京滋コンクリート診断士会	14	15	16	16	18	16	15	20	21	22
10	高知県コンクリート診断士会	21	23	27	25	30	35	36	46	46	48
11	新潟県コンクリート診断士会	80	87	87	82	105	112	121	125	129	120
12	長野県コンクリート診断士会	12	53	53	49	59	65	68	74	71	74
13	北海道コンクリート診断士会	62	85	102	116	128	136	129	122	123	125
14	東海コンクリート診断士会	7	27	43	45	60	92	98	103	116	131
15	広島県コンクリート診断士会	-	-	64	71	72	79	80	91	89	89
16	宮崎県コンクリート診断士会	-	-	-	-	94	95	95	94	94	95
17	(一社)福岡コンクリート主任技師・診断士会	-	-	-	-	-	-	47	36	-	-
18	富山県コンクリート診断士会	-	-	-	-	-	-	64	65	66	70
19	宮城県コンクリート診断士会	-	-	-	-	-	-	11	12	12	12
20	(一社)熊本県コンクリート診断士会	-	-	-	-	-	-	-	44	51	58
21	岡山県コンクリート診断士会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
22	直接入会会員		8	13	11	9	12	10	8	9	10
	会 員 数 計	636	781	916	985	1184	1309	1494	1617	1625	1749
	法人会員	45	54	55	63	67	71	71	72	75	82

# 歴代幹事一覧

氏 名	所 属	氏 名	所 属
小野 定	東京コンクリート診断士会	小林 剛	東京コンクリート診断士会
田澤 雄二郎	東京コンクリート診断士会	毎田 敏郎	東京コンクリート診断士会
重松 和男	東京コンクリート診断士会	仲田 昌弘	東京コンクリート診断士会
木村 克彦	東京コンクリート診断士会	磯川 省三	東京コンクリート診断士会
降矢 良男	東京コンクリート診断士会	大野 一昭	東京コンクリート診断士会
峰松 敏和	東京コンクリート診断士会	天野 智雄	静岡コンクリート診断士会
星野 富夫	東京コンクリート診断士会	逆井 直人	日本コンクリート診断士会
篠川 俊夫	東京コンクリート診断士会	山内 昌	東海コンクリート診断士会

JCDは常に幹事に支えられ活動しておりました

# 歴代理事一覧

2020.3.31現在

氏名	役職	期間	所属
林 静雄	会長	2010年～現在	東京工業大学・東京コンクリート診断士会
小野 定	副会長	2010年～現在	東京コンクリート診断士会
	事務局長(兼任)	2018年～現在	
佐藤 嘉昭	副会長	2010年～2018年	NPO法人大分県コンクリート診断士会
田澤 雄二郎	企画部会長	2010年～2014年	東京コンクリート診断士会
	会員部会副部会長	2014年～2016年	
	事務局長	2016年～2018年	
石川 裕夏	企画部副部会長	2010年～2014年	福井県コンクリート診断士会
	企画部会長	2014年～2018年	
	副会長	2018年～現在	
奥田 由法	技術部会長	2010年～2016年	石川県コンクリート診断士会
	技術部副部会長	2016年～現在	
有本 尚巳	技術部会副部会長	2010年～2014年	鳥取県コンクリート診断士会
長谷川 光弘	広報部会長	2010年～2012年	京滋コンクリート診断士会
	広報部会副部会長	2012年～2014年	
	広報部会副部会長	2010年～2012年	
奈良 裕	広報部会長	2012年～2014年	青森県コンクリート診断士会
	会員部会長	2014年～2016年	
	会員部会副部会長	2016年～現在	
	会員担当	2010年～2014年	
名倉 昭三	広報部会長	2014年～2018年	静岡県コンクリート診断士会
	会計担当	2010年～2014年	
井田 豊	財務部会長(一時総務)	2014年～現在	島根県コンクリート診断士会
		2010年～2014年	
毎田 敏郎	事務局長	2010年～2016年	東京コンクリート診断士会
伊藤 司郎	監事	2010年～2016年	新潟県コンクリート診断士会
上原 泰正	監事	2010年～2014年	北海道コンクリート診断士会
日堂 俊之	会員担当	2012年～2014年	長野県コンクリート診断士会
	広報部会副部会長	2014年～現在	
原田 隆敏	会員担当	2012年～2014年	高知県コンクリート診断士会
	企画部会副部会長	2014年～2016年	
	会員部会長	2016年～2018年	
	企画部会長	2018年～現在	
竹内 祥一	会計担当	2012年～2014年	東海コンクリート診断士会
	総務部会副部会長	2014年～2016年	
	総務部会長	2016年～現在	
岡崎 勝信	企画部会副部会長	2014年～2018年	宮城県コンクリート診断士会
	総務部会副部会長	2018年～現在	
奥村 智洋	技術部会副部会長	2014年～2016年	鳥取県コンクリート診断士会
	技術部会長	2016年～現在	
米倉 亜州夫	技術部会副部会長	2014年～2018年	広島県コンクリート診断士会
	会員部会部会長	2018年～現在	
岸川 英樹	広報部会副部会長	2014年～2018年	京滋コンクリート診断士会
田畑 雅幸	監事	2014年～現在	北海道コンクリート診断士会
大和 竹史	総務部会副部会長	2016年～2018年	福岡県コンクリート診断士会
細谷 多慶	会員部会副部会長	2016年～2018年	法人(ランデス(株))
本田 明	監事	2016年～現在	新潟県コンクリート診断士会
森 直生	企画部会副部会長	2018年～現在	富山県コンクリート診断士会
勇 秀忠	技術部会副部会長	2018年～現在	(一社)熊本県コンクリート診断士会
天野 智雄	広報部会長	2018年～現在	静岡県コンクリート診断士会
竹内 一博	会員部会副部会長	2018年～現在	NPO法人大分県コンクリート診断士会
小林 信一	会員部会副部会長	2018年～現在	法人((株)太平洋コンサルタント)

**JCD**

*Japan Society of Concrete Diagnosis and Maintenance Engineers*

設 立 平成22年7月23日  
法人登記 平成22年9月6日

---

**一般社団法人 日本コンクリート診断士会**  
**[www.jcd-net.or.jp](http://www.jcd-net.or.jp)**

〒452-0901 愛知県清須市阿原池之表153

Tel: 052-934-7877 FAX: 052-934-7857

E-mail: [info@jcd-net.co.jp](mailto:info@jcd-net.co.jp)

## 2021年度コンクリート診断士試験結果の概況

(2021年10月31日実施)

試地	申込者	受験者	合格者	合格率(%)
札幌	257	193	21	10.9%
仙台	463	338	48	14.2%
東京	1,571	1,134	188	16.6%
名古屋	657	465	77	16.6%
大阪	752	583	109	18.7%
島	314	235	33	14.0%
高松	229	177	31	17.5%
福岡	622	434	67	15.4%
急げ!	70	52	2	3.8%
全国	4,935	3,611	576	16.0%

## 2020年度コンクリート診断士試験結果の概況

(2020年12月20日実施)

試地	申込者	受験者	合格者	合格率(%)
札幌	257	146	18	12.3%
仙台	468	273	41	15.0%
東京	1,503	910	171	18.8%
名古屋	679	418	65	15.6%
大阪	717	486	79	16.3%
島	297	180	27	15.0%
高松	185	123	13	10.6%
福岡	630	370	59	15.9%
急げ!	86	67	11	16.4%
全国	4,822	2,973	484	16.3%

**コンクリート診断士 県別・業種別登録者数 (2021/04/01現在)**

都道府県	勤 務 先 業 種																		合計	比率
	官庁	独立行政 法人・事 業団等	地方自治 体等	大学・学 校	設計事務 所	コンサル タント	エンジニ アリング	セメント	混和材料	生コンク リート	コンク リート製 品	建設	調査診断	試験	電力・ガ ス	鉄道	道路	その他		
北海道	17	23	17	6	22	319	7	16	3	29	38	290	25	4	12	10	4	44	886	6.3%
青森県	2	1	3	1	3	21	3	1	0	17	4	27	1	0	3	0	3	3	93	0.7%
岩手県	3	2	11	1	0	22	1	0	1	15	4	34	1	0	3	2	2	5	107	0.8%
宮城県	5	5	17	3	6	105	7	11	5	18	13	213	15	3	14	3	10	23	476	3.4%
秋田県	0	1	10	0	0	26	2	0	0	8	3	27	0	0	0	1	0	6	84	0.6%
山形県	3	0	5	1	1	23	0	0	1	11	8	18	1	0	0	0	3	1	76	0.5%
福島県	2	3	8	2	2	18	1	1	0	13	6	25	1	0	4	0	2	6	94	0.7%
茨城県	4	8	4	0	1	33	2	3	0	8	8	69	5	2	2	0	3	7	159	1.1%
栃木県	0	0	8	0	0	18	1	1	0	3	6	45	1	0	3	0	1	3	90	0.6%
群馬県	3	2	7	0	3	19	3	7	1	11	5	33	0	1	1	2	2	4	104	0.7%
埼玉県	2	12	30	1	8	132	15	13	6	21	18	262	7	10	4	19	16	43	619	4.4%
千葉県	2	8	32	2	10	110	10	53	13	27	8	266	19	6	13	13	19	48	659	4.7%
東京都	17	17	52	6	32	396	36	58	39	64	44	1,064	39	7	52	40	70	114	2,147	15.3%
神奈川県	4	8	51	5	10	135	25	6	22	30	8	310	56	3	15	22	25	58	793	5.7%
新潟県	4	5	22	3	1	55	8	3	6	19	16	164	13	3	4	7	6	21	360	2.6%
富山県	0	1	19	0	1	31	2	0	0	11	4	46	3	0	10	6	1	10	145	1.0%
石川県	3	2	22	2	3	53	9	7	0	19	4	62	6	1	1	12	5	3	214	1.5%
福井県	0	6	20	0	1	47	2	1	0	16	19	62	4	4	4	0	4	11	201	1.4%
山梨県	2	0	3	0	1	18	1	0	0	7	1	23	1	0	1	1	0	3	62	0.4%
長野県	0	0	16	0	3	49	2	1	0	24	7	118	4	6	2	5	4	6	247	1.8%
岐阜県	7	2	14	3	5	77	4	1	0	9	16	107	3	1	4	3	3	8	267	1.9%
静岡県	3	1	25	2	3	41	3	1	0	12	3	96	6	1	0	5	6	11	219	1.6%
愛知県	8	9	39	2	8	182	12	20	18	22	19	335	20	6	2	18	42	33	795	5.7%
三重県	2	1	11	1	0	16	0	0	0	8	7	30	3	1	0	0	3	4	87	0.6%
滋賀県	1	0	7	0	2	14	0	0	0	8	3	34	0	0	1	2	1	9	82	0.6%
京都府	3	0	19	0	0	35	1	0	1	8	11	58	5	0	0	8	2	6	157	1.1%
大阪府	11	8	34	2	22	296	18	20	8	26	12	503	71	9	10	39	27	47	1,163	8.3%
兵庫県	2	6	38	2	10	92	11	4	1	21	8	172	16	7	5	27	27	34	483	3.4%
奈良県	0	0	7	0	1	14	1	1	0	2	1	32	1	1	1	1	5	13	81	0.6%
和歌山県	0	0	6	0	3	11	1	0	0	5	1	12	0	0	0	0	0	5	44	0.3%
鳥取県	0	2	7	1	1	41	1	0	0	4	0	17	2	1	1	2	2	3	85	0.6%
島根県	3	2	18	1	3	67	1	0	1	8	4	32	5	0	0	1	0	4	150	1.1%
岡山県	3	2	19	1	0	43	4	2	4	10	9	62	2	0	0	7	4	9	181	1.3%
広島県	5	5	22	3	3	157	16	11	4	29	11	148	11	0	7	3	7	27	469	3.3%
山口県	0	1	19	2	1	39	6	17	0	21	5	53	2	1	0	7	1	7	182	1.3%
徳島県	0	1	3	2	0	18	4	0	0	4	0	17	2	1	1	0	4	3	60	0.4%
香川県	3	0	9	1	0	37	4	5	1	8	7	38	6	0	7	2	4	7	139	1.0%
愛媛県	0	0	7	1	1	30	1	0	2	3	5	31	8	4	0	1	3	2	99	0.7%
高知県	0	4	9	1	0	22	0	0	1	1	0	26	0	0	0	0	1	2	67	0.5%
福岡県	9	13	33	5	27	228	11	22	8	17	24	256	24	0	6	14	6	39	742	5.3%
佐賀県	1	3	8	0	0	18	0	0	0	5	1	24	0	0	3	1	0	5	69	0.5%
長崎県	1	1	14	2	1	23	0	0	1	15	2	26	4	0	0	0	1	4	95	0.7%
熊本県	2	0	18	4	1	51	0	0	0	11	10	25	0	0	0	0	1	1	124	0.9%
大分県	3	2	14	2	0	71	0	1	0	6	4	55	6	0	1	0	1	8	174	1.2%
宮崎県	3	0	9	0	2	38	1	0	0	13	3	30	1	2	1	0	2	2	107	0.8%
鹿児島県	0	5	11	0	3	89	0	2	1	8	6	37	0	0	2	1	2	7	174	1.2%
沖縄県	0	0	7	0	2	49	0	6	0	15	4	14	3	1	0	0	1	3	105	0.7%
国外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
合計	143	172	784	71	207	3,429	237	295	148	670	400	5,429	403	86	200	285	336	722	14,017	100%
構成比	1.0%	1.2%	5.6%	0.5%	1.5%	24.5%	1.7%	2.1%	1.1%	4.8%	2.9%	38.7%	2.9%	0.6%	1.4%	2.0%	2.4%	5.2%	100%	